Web Server対応オプション

Vbus-70C-03

WEB SERVER OPTION

取扱説明書

このたびは、ビデオトロン製品をお買い上げいただきありがとうございました。
安全に正しくお使いいただくため、ご使用の前にこの取扱説明書を必ずお読みください。

VIDEOTRON®

この製品を安全にご使用いただくために

警告

誤った取扱いをすると死亡または重傷、火災など重大な結果を招く恐れがあります。

1）電源プラグ、コードは

・定格で定められた電源以外は使用しないでください。

・差込みは確実に。ほこりの付着やゆるみは危険です。

・濡れた手でプラグの抜き差しを行わないでください。

・抜き差しは必ずプラグを持って行ってください。コードを持って引っ張らないでください。

・電源コードは巻かずに、伸ばして使用してください。

・電源コードの上に重い物を載せないでください。

・機械の取り外しや清掃時等は必ず機械の電源スイッチを OFF にし、電源プラグを抜いてから行ってください。

2）本体が熱くなったら、焦げ臭いにおいがしたら

・すぐに電源スイッチを切ってください。電源スイッチのない機械の場合は、電源プラグを抜くなどして電源の供給を停止してください。機械の保護回路により電源が切れた場合、あるいはブザー等による警報がある場合にもすぐに電源スイッチを切るか、電源プラグを抜いてください。

・空調設備を確認してください。

・しばらくの間機械に触れないでください。冷却ファンの停止などにより異常発熱している場合があります。

・機械の通風孔をふさぐような設置をしないでください。熱がこもり異常発熱の原因になります。

・消火器の設置をお勧めします。緊急の場合に取り扱えるようにしてください。

3）修理等は、弊社サービスにお任せください

・感電・故障・発火・異常発熱などの原因になりますので、弊社サービスマン以外は分解・修理などを行わないでください。

・故障の場合は、弊社　製造技術部へご連絡ください。

4）その他

・長期に渡ってご使用にならない時は電源スイッチを切り、安全のため電源プラグを抜いてください。

・質量のある機械は一人で持たず、複数人でしっかりと持ってください。転倒や機械の落下によりけがの原因になります。

・冷却ファンが回っている時はファンに触れないでください。ファン交換などは必ず電源を切り、停止していることを確かめてから行ってください。

・車載して使用する場合は、より確実に固定してください。転倒し、けがの原因になります。

・ラックマウントおよびラックの固定はしっかりと行ってください。地震などの災害時に危険です。

・機械内部に異物が入らないようにしてください。感電・故障・発火の原因になります。

注意

誤った取扱いをすると機械や財産の損害など重大な結果を招く恐れがあります。

1）機械の持ち運びに注意してください

・落下等による衝撃は機械の故障の原因になります。
　また、足元に落としたりしますとけがの原因になります。

2）外部記憶メディア対応の製品では

・規格に合わないメディアの使用はドライブ・コネクタの故障の原因になります。
　マニュアルに記載されている規格の製品をご使用ください。

・強い磁場がかかる場所に置いたり近づけたりしないでください。内部データに影響を及ぼす場合があります。

・湿気やほこりの多い場所での使用は避けてください。故障の原因になります。

・大切なデータはバックアップを取ることをおすすめします。

●定期的なお手入れをおすすめします

・ほこりや異物等の浸入により接触不良や部品の故障が発生します。

・お手入れの際は必ず電源を切り、電源プラグを抜いてから行ってください。
　また、電解コンデンサー、バッテリー他、長期使用劣化部品等は事故の原因につながります。
　安心してご使用していただくために定期的な（5年に一度）オーバーホール点検をおすすめします。
　期間、費用等につきましては弊社　製造技術部までお問い合わせください。

※上記現象以外でも故障かなと思われた場合やご不明な点がありましたら、弊社　製造技術部までご連絡ください。

ビデオトロン株式会社　製造技術部

〒193-0835　東京都八王子市千人町2-17-16

TEL　042-666-6329

FAX　042-666-6330

受付時間　8：30～17：00

E-Mail　cs@videotron.co.jp

＜土曜・日曜・祝祭日の連絡先＞

留守番電話　042-666-6311

緊急時　090-3230-3507（携帯電話の為、通話に障害を起こす場合がありますので、あらかじめご了承願います。）

受付時間　9：00～17：00

保証規定

・本製品の保証期間は、お買い上げ日より1年間とさせていただきます。なお、保証期間内であっても次の項目に該当する場合は有償修理となります。

（1）ご利用者様での、輸送、移動、落下時に生じた製品破損、損傷、不具合。

（2）適切でない取り扱いにより生じた製品破損、損傷、不具合。

（3）火災、天災、設備異常、供給電圧の異常、不適切な信号入力などにより生じた破損、損傷、不具合。

（4）当社製品以外の機器が起因して当社製品に生じた破損、損傷、不具合。

（5）当社以外で修理、調整、改造が行われている場合、またその結果生じた破損、損傷、不具合。

・修理責任免責事項について

当社の製品におきまして、有償無償期間に関わらず出来る限りご依頼に沿える修理対応を旨としておりますが、以下の項目に該当する場合はやむをえず修理対応をお断りさせていただく場合がございます。

（1）生産終了より7年以上経過した製品、及び製造から10年以上経過し、機器の信頼性が著しく低下した製品。

（2）交換の必要な保守部品が製造中止により入手不可能となり在庫もない場合。

（3）修理費の総額が製品価格を上回る場合。

（4）落雷、火災、水害、冠水、天災などによる破損、損傷で、修理後の恒久的な信頼性を保証出来ない場合。

・アプリケーションソフトについて

（1）製品に付属しているアプリケーションは、上記規定に準じます。

（2）アプリケーション単体で販売している場合は、販売終了より3年経過した時点で、サポートを終了いたします。

何卒、ご理解の程よろしくお願いいたします。

…… 目 次 ……

この製品を安全にご使用いただくために I
保証規定 III
1. 概　説 1
2. 構　成 2
1. Vbus-70C 2
3. システム要件 2
1. WebServer 2
2. クライアント環境 2
3. ネットワーク・通信環境 3
4. 接続 4
1.電源の投入 4
2.LAN の接続 4
3.IP アドレスの設定 4
4.Web ブラウザーからの接続 4
5. インストール 5
1. WebServer インストール 5
2.インストール手順 5
6. アクティベーション（利用開始設定） 6
1. ライセンスのアクティベーション方法 6
7. ログイン 7
1. ログイン画面 7
2. ログインパスワード忘れた場合 7
3. USER ID 8
8. メイン画面 9
1. メイン画面 9
2. メインメニュー 10
3. 筐体情報 10
4. モジュールメニュー 11
5. SETTING 12
6. CONTROL 12
7. LOG 13
8. TRAP 14
9. システム設定 15

1. システム設定画面 15
2. 筐体情報 16
3. モジュール情報 16
4. IP アドレス設定 17
5. 時計設定 18
6. SNMP 設定 19
7. メール通知設定 20
8. ユーザー設定 21
10. トラブルシューティング 22
付録 1 各モジュールの機能対応表 24
付録 2 各モジュールのコントロール画面 26

1. 概　説

Vbus-70C-03 WebServer（ウェブサーバー）対応オプション(以下 WebServer)は、ビデオトロン社製 Vbus-70C に実装されたモジュールの構成情報や設定確認・変更、コントロールなどを Web ブラウザー上でおこなうことができます。また、SNMP の TRAP の制御や TRAP 発生時にメール通知をおこなうことができます。

注意 1：本マニュアルに記載された内容は、将来予告なしに一部または全体を修正及び変更することがあります。

注意 2：WebServer 対応オプションは SNMP ボード Vbus-SNMP-05 が実装されている Vbus-70C 筐体で動作します。旧 SNMP ボード(Vbus-SNMP-03)をご使用の場合は、別途 VbusC SNMP BOARD Vbus-SNMP-05 が必要です。

※VbusC SNMP BOARD Vbus-SNMP-05 のご購入については当社営業部までお問い合わせください。

	Vbus-SNMP-03 (WebServer 非対応)	Vbus-SNMP-05 (WebServer 対応)
SNMP ボード	LED 表示機 なし	LED 表示機 あり
筐体実装時	LED 表示機 なし	LED 表示機 あり

■特　長

- ✓ Vbus-70C の SNMP に対応したモジュール※1の設定確認、設定変更がネットワークで可能。
- ✓ 装着されたモジュールの設定や操作を Web ブラウザー※2 上でグラフィカルに表示。
- ✓ SNMP の TRAP 通知を各モジュールの項目ごとに任意で設定。
- ✓ 指定の TRAP が発行された場合にメールで内容を通知。
- ✓ モジュールの各設定データを Web ブラウザー経由でパソコンに保存可能。(SNMP 対応項目のみ)
- ✓ SNMP で発行された TRAP をログに記録し閲覧が可能。

※1 SNMP に対応しない 70 モジュールは認識、制御できません。対応モジュールは「付録1．各モジュールの機能対応表」を参照下さい。

詳細に付きましては当社製造技術部までお問い合わせください。

※2 一部の Web ブラウザーでは正常に動作することができません。対応する Web ブラウザーはシステム要件の対応 Web ブラウザー一覧を参照してください。

2. 構 成

・筐体は以下の構成になっています。開梱後、付属品などが不足していないかお確かめください。

万一、不足している品物がございましたら、お手数ですが当社製造技術部までご連絡ください。

※付属品が不足している状態でのご使用は避けてください。

1. Vbus-70C

番号	品名	型名・規格	数量	記事
1	WebServer（ウェブサーバー）対応オプション	Vbus-70C-03	1	ソフトウェア使用契約書 （アクティベーションコード記載）
2	WebServer インストール CD-ROM	CD-ROM	1	Vbus-SNMP-05 Installer 取扱説明書(PDF版)

※ 出荷時期により搭載される機器の構成や性能が変更される場合があります。

※ 取扱説明書(Vbus-70C-03WebServer 対応オプションユーザーズマニュアル、Vbus-70C-03WebServer 対応オプション取扱説明書)はアプリケーション CD の Document フォルダー内に PDF ファイルで格納されています。

3. システム要件

1. WebServer

Vbus-70C	SNMP ボード Vbus-SNMP-05 が装着された筐体 （詳細は概説を参照）

2. クライアント環境

対応 Web ブラウザー一覧

環境	Web ブラウザー	対応	備考
PC	Chrome	○	
	Firefox	○	
	Opera	○	
	Safari	○	
	IE 6～8	×	
	IE 9～10	×	
タブレット	Android 用 Chrome	未検証	
	iPad 用 Safari	未検証	
	iPad 用 Chrome	未検証	
スマートフォン	Android 用標準ブラウザー	未検証	
	iPhone 用 Safari	未検証	
	iPhone 用 Chrome	未検証	

Web ブラウザーの JavaScript 機能は必ず「有効」に設定して下さい。

3. ネットワーク・通信環境

LAN(Local Area Network)	100Base-TX で接続されたネットワーク
WAN(Wide Area Network)	光ファイバーなど回線速度が 10Mbps 以上 【通過が必要な通信プロトコル】 HTTP：Hypertext Transfer Protocol SMTP：Simple Mail Transfer Protocol SNTP：Simple Network Time Protocol
送信メールサーバー(SMTP)	SMTP に対応するサーバー SMTP 認証(AUTH CRAM-MD5、AUTH LOGIN、AUTH PLAIN)
時刻補正(SNTP)	SNTP に対応するサーバー

※接続する HUB やルーターの種類によっては、ネットワークに接続できないことや、通信エラーが発生する場合がございます。詳細につきましては当社営業部までお問い合わせ下さい。

※上記は推奨環境であり、動作を保証するものではございません。上記以外の環境におきましては正常なご使用を保証いたしかねますのでご了承ください。

※この推奨環境であっても、お客さまのお使いの機種の使用状況、通信環境などの理由により、動作しないことがございます。あらかじめご確認の上ご利用ください。

4. 接続

P－Ⅰ～Ⅱ「この製品を安全にご使用いただくために」の内容を確認し、安全に作業を行ってください。

1.電源の投入

(1)Vbus-70C の電源を投入します。

※接続方法は Vbus-70C の取扱説明書を参照してください。

(2)Web ブラウザーが動作する端末の電源を投入します。

2.LAN の接続

(1)Vbus-70C と Web ブラウザーが動作する端末をネットワークで接続します。

カテゴリ 5 対応ツイストペアケーブル(UTP または STP)を用いてください。本機器を HUB と接続する場合はストレートケーブルを、PC と直接接続する場合はクロスケーブルを使用してください。

初めてVbus筐体にアクセスする場合や、他のネットワークに設置してあったものを移動してきた場合は、IPアドレスの設定作業が必要になります。

3.IP アドレスの設定

(1) Vbus 筐体の IP アドレス設定

Vbus-70Cの工場出荷時のIPアドレスは 192.168.1.1です。設定に使用するWebブラウザー端末のIPアドレスを192.168.1.1から192.168.1.254 までの間で同一ネットワーク上で使用していないアドレスに変更してください。次に、ネットマスク(サブネットマスク)を 255.255.255.0 に設定し、Vbus筐体とWebブラウザー端末をネットワークで接続してください。

4.Web ブラウザーからの接続

端末のWebブラウザーから Vbus 筐体のIPアドレスを指定して接続します。

工場出荷時設定の場合 : 「192.168.1.1」 または「http://192.168.1.1/index.html」

画面に従い各種設定を行います。各種設定を行うためには、製品のアクティベーションとログインが必要です。

製品のアクティベーションの詳細は「6 アクティベーション」を参照してください。

ログインの詳細は「7 ログイン」を参照してください。

また、各種設定の詳細は「9 本体設定」を参照してください。

プロキシサーバーをご使用の場合は、Webブラウザーの設定によりプロキシを使用しない例外として本機器のIPアドレスを設定してください。

ログイン後のWeb画面が正常に表示されない場合は、JavaScript が有効に設定されていることを確認してください。

5. インストール

1. WebServer インストール

Vbus-SNMP-05 ボードを工場出荷時に戻した時、または最新バージョンの WebServer にバージョンアップを行う際には付属の CD-ROM より WebServer のインストールを行います。工場出荷時には WebServer はインストールされた状態になっています。

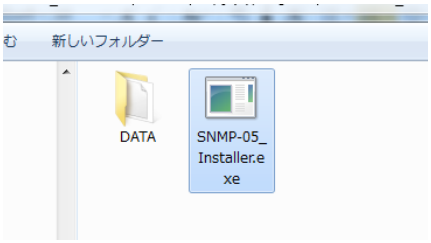
2.インストール手順

WindowsPC よりインストールを行います。インストーラーは Windows7 以降の WindowsOS に対応しています。

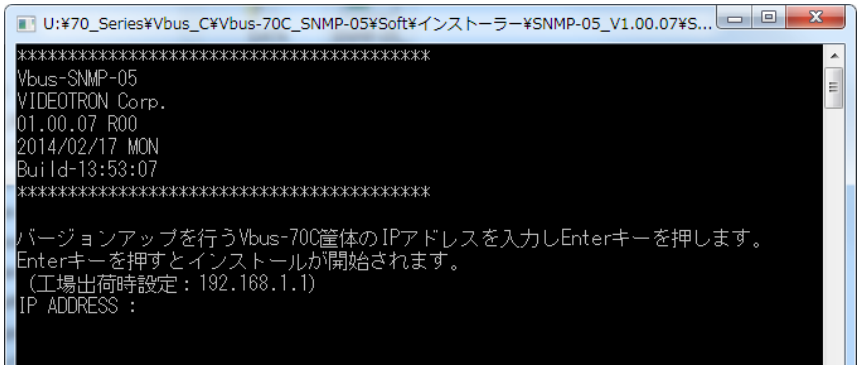
(1) WindowsPC をインストール対象の Vbus-70C 筐体と同一ネットワーク上に接続します。

(2) バージョンアップ対象の Vbus-70C 筐体に WebServer で接続している場合はログアウトします。

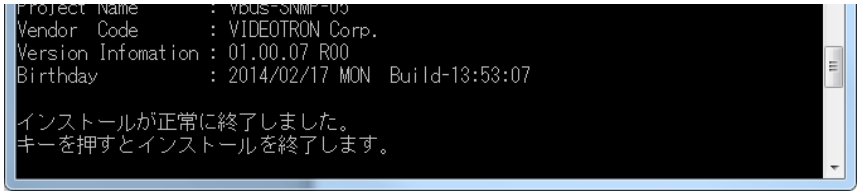
(3) 付属 CD-ROM の Installer フォルダー内にある SNMP-05_Installer.exe を起動します。



(4) コマンドプロンプト画面が表示され、バージョンアップ対象の Vbus-70C 筐体の IP アドレスを入力する画面が表示されます。対象の Vbus-70C 筐体の IP アドレスを入力するとインストールが開始されます。インストールの途中では SNMP ボードがプログラム更新の為、自動で再起動を行います。



(5) バージョンアップが完了すると「インストールが正常に終了しました。キーを押すとインストールを終了します。」のメッセージが表示されます。キーを押してプログラムを終了します。



6. アクティベーション（利用開始設定）

1. ライセンスのアクティベーション方法

WebServer に初めて接続した時はアクティベーションの画面が表示されます。

製品に付属のソフトウェア使用契約書に記載されているアクティベーションコード※1 を入力して認証を行います。
アクティベーションコードは Vbus 筐体に装着された Vbus-SNMP-05 ボードごとに異なります。ソフトウェア使用契約書の商品 No.に記載された Vbus-SNMP-05 ボード番号に一致する Vbus-SNMP-05 ボードに対してアクティベーションコードをご利用下さい。
また、ソフトウェア使用契約書を紛失するとアクティベーションが行えませんので大切に保管してください。

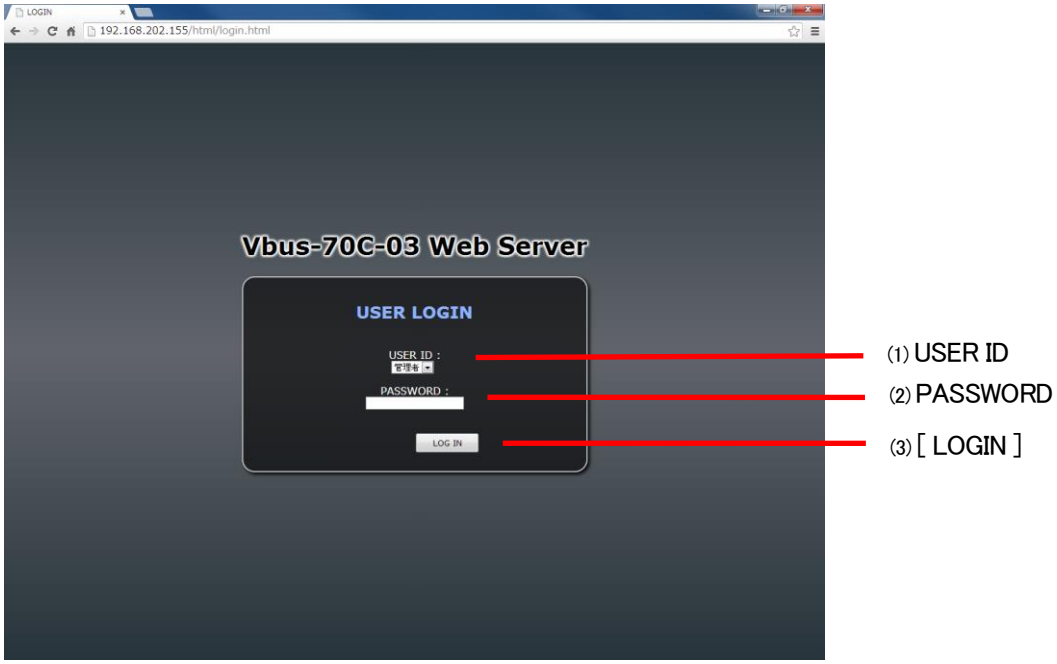
アクティベーションが成功するとログイン画面へ進みます。認証に失敗した場合は再度アクティベーションの画面が表示されます。

※1 アクティベーションコードとは、一意の文字のセットであり、4 桁の 8 ブロックがハイフン(-)で区切られています。 全体で 32 文字になります。(XXXX-XXXX-XXXX-XXXX-XXXX-XXXX-XXXX-XXXX)

7. ログイン

1. ログイン画面

Web Server へ接続するとログイン画面が表示されます。ユーザーとパスワードを入力しログインします。



ログイン画面

	項目	内容
1	USER ID	ログインするユーザーを「管理者」、「運用者」、「閲覧者」から選択する事ができます。
2	PASSWORD	選択したユーザーのパスワードを入力します。大文字、小文字の間違えがないように入力してください。 工場出荷時の設定は以下のようになります。 管理者:VBUS 運用者:VBUS 閲覧者:VBUS ログイン後にパスワードの設定を行ってください。
3	[LOGIN] ボタン	入力されたユーザーとパスワードでログインを行います。 ログインが成功するとメイン画面が表示されます。

2. ログインパスワード忘れた場合

パスワードを忘れた場合、SNMP ボードを工場出荷時の状態に戻し、パスワードのリセットを行ってください。

また、工場出荷時の状態に戻すと、今まで設定されていた IP アドレスや設定が初期化されますので再度設定が必要となります。

SNMP ボードを工場出荷時に戻すには Vbus 筐体の取扱説明書を参照してください。

3. USER ID

ユーザーID には「管理者」、「運用者」、「閲覧者」があり、それぞれのユーザーは WebServer の機能で閲覧、操作ができる項目が異なります。各ユーザーが操作できる範囲は以下の通りになっています。

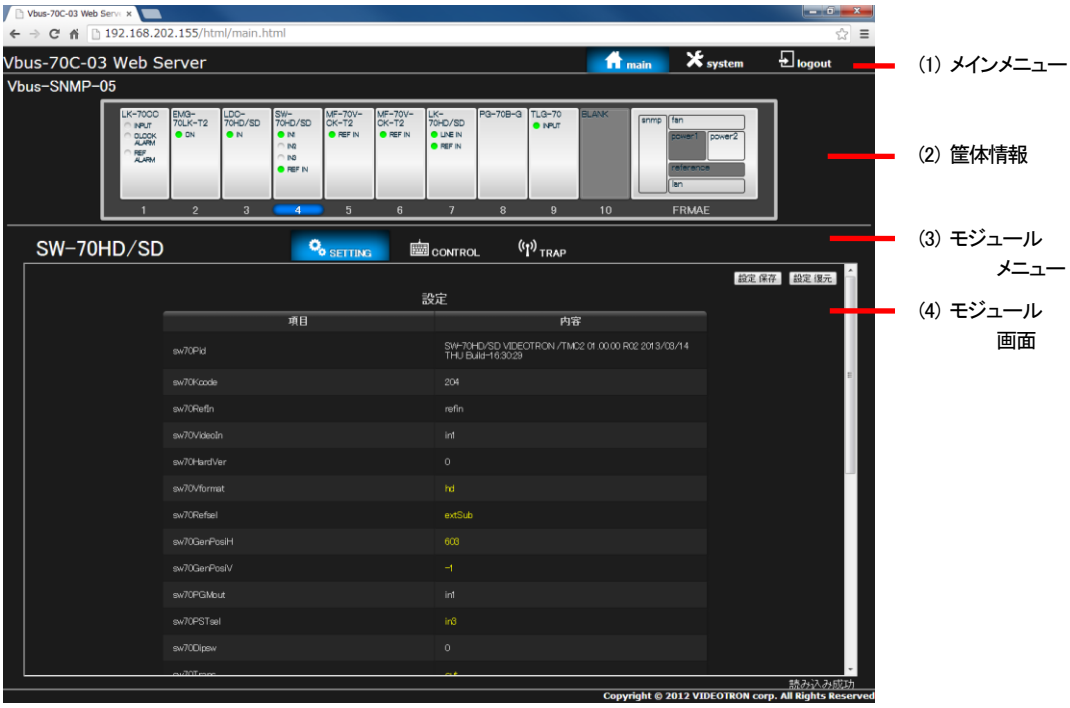
機能		管理者	運用者	閲覧者
	ログイン	◎	◎	◎
メイン画面	筐体情報	△	△	△
モジュール画面	SETTING	◎	◎	△
	CONTROL	◎	◎	△
	LOG	◎	◎	△
	TRAP	◎	◎	△
システム設定画面	IP アドレス設定	◎	×	×
	時計設定	◎	×	×
	SNMP 設定	◎	×	×
	メール通知設定	◎	×	×
	ユーザー設定	◎	×	×

（ ◎・・・参照・設定が可能 、 △・・・参照のみ可能 、 ×・・・アクセス不可）

8. メイン画面

1. メイン画面

画面切り替えメニューや筐体の構成や状態を表示、選択することができます。

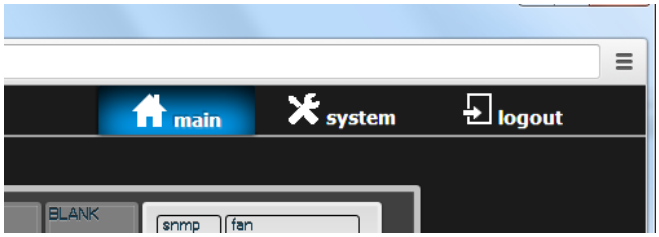


メイン画面

	項目	内容
1	メインメニュー	メイン画面切り替え、システム画面切り替え、ログアウトのメニューです。 詳細は「8.2.メインメニュー」を参照
2	筐体情報	筐体の構成やモジュールの状態を表示します。 詳細は「8.3.筐体情報」を参照
3	モジュールメニュー	選択したモジュールを操作するメニューが表示されます。 モジュールにより操作可能なメニューが異なります。 詳細は「8.4.モジュールメニュー」を参照
4	モジュール画面	モジュールメニューで選択した項目の操作画面が表示されます。 詳細は「8.5.SETTING」、「8.6.CONTROL」、「8.7. LOG」、「8.8. TRAP」

2. メインメニュー

メイン画面の右上にメインメニューがあり、画面の切り替えを行う事ができます。

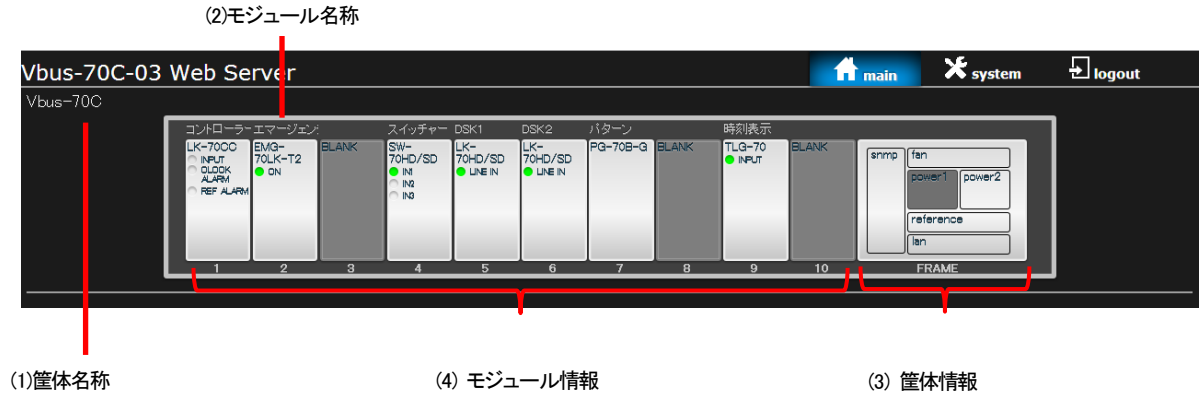


メインメニュー

	項目	内容
1	main	メイン画面を表示します。 筐体の状態やモジュールの操作を行います。
2	system	システム画面を表示します。 本体情報の設定が行えます。 詳細は「9.システム設定」を参照
3	logout	ログアウトしログイン画面に戻ります。

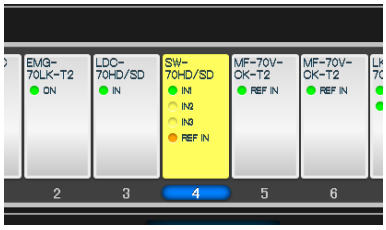
3. 筐体情報

メイン画面の中央に筐体があり、筐体の構成情報や状態を表示します。

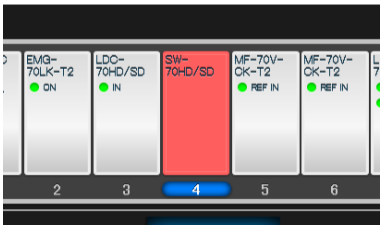


	項目	内容
1	筐体名称	[system]メニューの筐体情報に設定された筐体名称を表示します。
2	モジュール名称	[system]メニューのモジュール情報に設定されたモジュールの名称を表示します。 はみ出た文字は三点リーダ(…)で省略され、カーソルを乗せるとポップアップされ全文が表示されます。
3	筐体情報	筐体の SNMP ボード、FAN、電源 1、電源 2、リファレンス、LAN の状態を表示します。異常が発生した場合は赤く表示されます。 装置が装着されていない場合、または認識されない場合はグレーで表示されます。
4	モジュール情報	筐体のスロット 1～10 に装着されたモジュールの状態や名称を表示します。

		モジュールが装着されていないスロットは BLANK(グレー)で表示されます。また、WebServer に未対応のモジュールは同様に BLANK(グレー)で表示されます。 入力信号が必要なモジュールなどは、入力エラーなどエラーが発生した場合、黄色で表示されます。入力エラーの判定はモジュールにより対応が異なります。モジュールのエラー状態の有効・無効は[system]-[モジュール情報]のエラーチェックで設定が行えます。 モジュールが取り外されたり異常が発生した場合は赤く表示されます。 一度実装されたスロットのモジュールの情報は保持されます。モジュールの構成をリセットする場合は筐体の電源を切るか SNMP ボードのリセットを行います。 モジュールをクリックすることでモジュールの選択が行えます。選択されたモジュールはスロット番号が青く表示されます。



入力エラー状態



モジュールが取り外された状態

4. モジュールメニュー

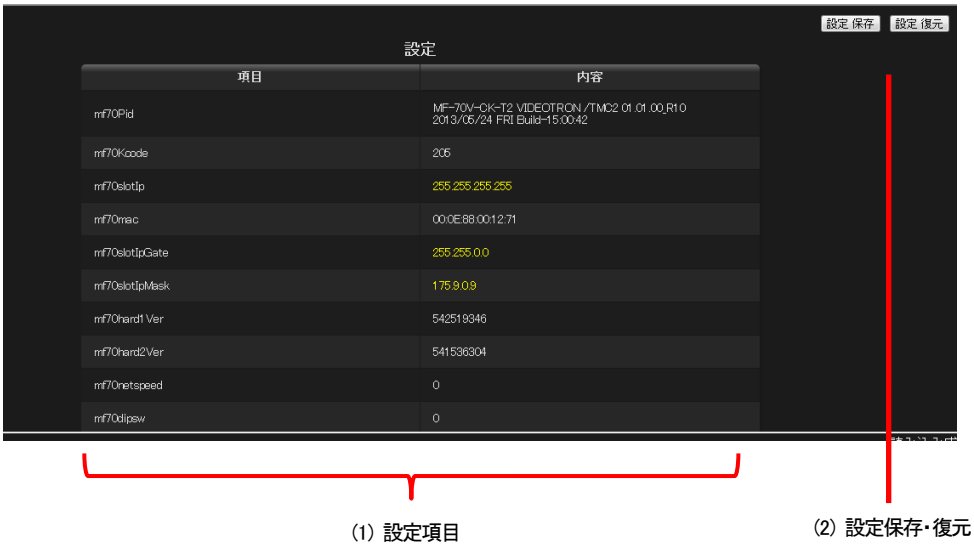
筐体情報で選択した筐体またはモジュールを操作するメニューが筐体情報の下に表示されます。モジュールにより操作可能なメニューが異なります。選択された項目は青く表示されます。

モジュールメニュー

	項目	内容
1	SETTING	筐体またはモジュールの SNMP 項目の設定と設定の保存と復元が行えます。 詳細は「8.5.SETTING」を参照
2	CONTROL	Web ブラウザーからのコントロールに対応したモジュールでは Web ブラウザー画面からの制御が行えます。未対応のモジュール場合は制御画面が表示されません。 詳細は「8.6.CONTROL」を参照
3	LOG	筐体またはログ機能を持つモジュールでは Web ブラウザー画面からのログの表示が行えます。未対応のモジュール場合はログの表示がされません。 詳細は「8.7.LOG」を参照
4	TRAP	筐体またはモジュールの TRAP 発行の設定とメール通知の設定が行えます。 詳細は「8.7.TRAP」を参照

5. SETTING

筐体またはモジュールの SNMP 項目の設定と設定の保存と復元が行えます。

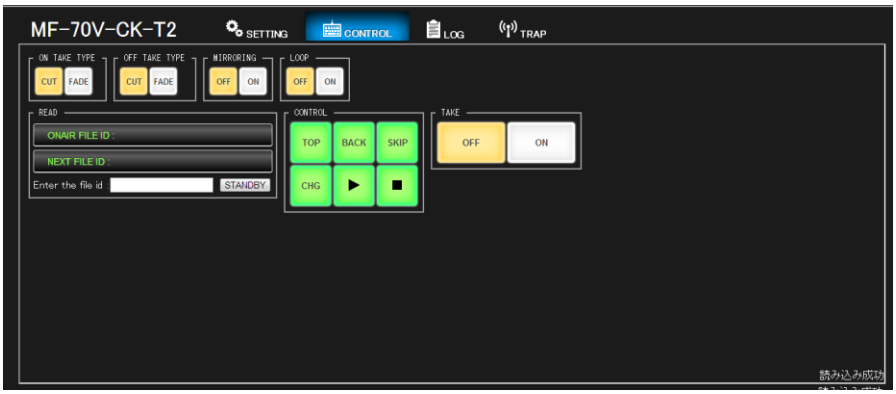


SETTING 画面

	項目	内容
1	設定項目	モジュールの SNMP 項目と内容の一覧を表示します。 黄色で表示された項目は値の変更が行える項目です。 値の変更を行った後に[OK]ボタンで設定が反映されます。 それぞれの項目と値についてはモジュールに付属する取扱説明書を参照して設定を行ってください。
2	設定保存	現在表示されている項目と値の設定データを Web ブラウザーの端末に保存します。
	設定復元	保存した設定データを復元します。値の変更可能な項目のみ復元します。

6. CONTROL

Web ブラウザーからのコントロールに対応したモジュールでは Web ブラウザー画面からモジュールの一部の機能の制御が行えます。(未対応のモジュール場合は制御画面が表示されません。)コントロール画面は各モジュールの種類により異なります。対応する各モジュールのコントロール画面は巻末の「付録 1　各モジュールのコントロール画面」を参照してください。



コントロール画面

7. LOG

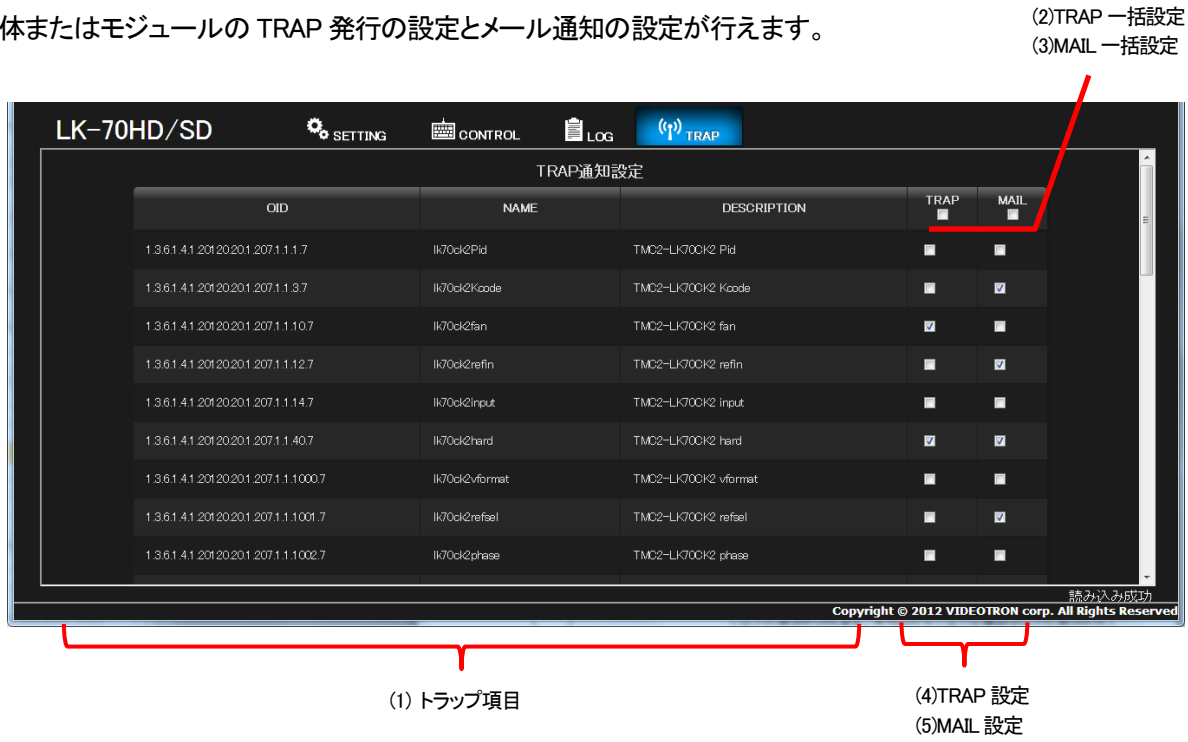
筐体またはログ機能を持つモジュールでは Web ブラウザー画面からのログの表示が行えます。未対応のモジュール場合はログの表示がされません。

LOG 画面

	項目	内容
1	ログ	筐体またはモジュールのログを表示します。 ログの内容は各モジュールの取扱説明書を参照してください。
2	ページ切り替え	ログに複数のページがある場合にページの切り替えを行います。
3	ダウンロード	ログデータのダウンロードを行います。 この機能は現在使用できません。

8. TRAP

筐体またはモジュールの TRAP 発行の設定とメール通知の設定が行えます。



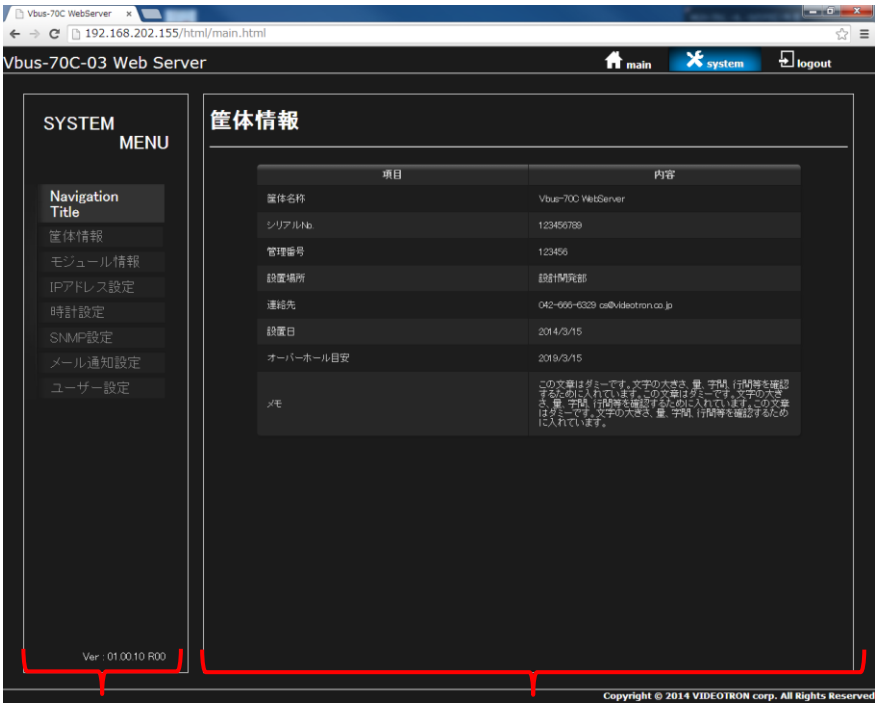
TRAP 画面メニュー

	項目	内容
1	トラップ項目	筐体またはモジュールから発行される TRAP の項目と内容の一覧を表示します。
2	TRAP 一括設定	TRAP 設定の全ての項目を一括してチェックします。
3	MAIL 一括設定	MAIL 設定の全ての項目を一括してチェックします。
4	TRAP 設定	TRAP として通知したい項目にチェックを付けます。 「9 システム設定」の SNMP 設定で TRAP が有効に設定されている必要があります。 デフォルトではすべての TRAP が有効になっています。
5	MAIL 設定	TRAP が発行された時にメールで通知したい項目にチェックを付けます。 「9 システム設定」のメール通知設定でメール通知が有効に設定されている必要があります。 デフォルトではすべてのメール通知が無効になっています。 TRAP の発行回数の多い項目やメール通知を行う項目数が多い場合、メールが大量に発行さ本体およびシステム全体に高い負荷を与えますので設定には注意して行ってください。

9. システム設定

1. システム設定画面

画面切り替えメニューや筐体の構成や状態を表示、選択することができます。



(1) システムメニュー項目　　(2) システムメニュー内容

システム設定画面

	項目		内容
1	システム メニュー項目	筐体情報	筐体名称やシリアル番号、管理番号など筐体に関するユーザー情報を設定します。
		モジュール情報	各スロットに装着されたモジュール名称やエラーチェックの有無を設定します。
		IP アドレス設定	本体の IP アドレスや DNS サーバーなどのネットワークの設定を行います。
		時計設定	本体の時計を設定する為の SNTP クライアントの設定を行います。
		SNMP 設定	SNMP の設定を行います。
		メール通知設定	SNMP の TRAP をメールで通知する設定をおこないます。
		ユーザー設定	ログインユーザーのパスワードの設定を行います。
2	システムメニュー内容		システムメニューで選択された内容を表示します。

2. 筐体情報

本体の IP アドレスや DNS サーバーなどのネットワークの設定を行います。

筐体情報設定画面

	項目	内容
1	筐体名称	筐体を識別する為の任意の名称を設定します。
2	シリアル番号	筐体のシリアル番号を設定します。
3	管理番号	筐体を管理するための任意の番号を設定します。
4	設置場所	筐体の設置場所を設定します。
5	連絡先	筐体に障害が発生した時などの連絡先を設定します。
6	設置日	筐体を設置した日付を設定します。
7	オーバーホール目安	筐体のオーバーホールの目安の日付を入力します。
8	メモ	出来事や観察結果を記録します。

3. モジュール情報

各スロットに装着されたモジュールの名称やエラーチェックの設定を行います。

筐体情報設定画面

	項目	内容
1	名称	モジュールの名称を設定します。入力した名称はメイン画面のモジュールの上に表示されます。最大 30 文字まで入力できますがメイン画面に表示できる文字は全角で 6 文字位です。はみ出た文字は三点リーダ(…)で省略されます。
2	エラーチェック	エラーチェックの有効、無効を設定します。 無効にした場合は、入力信号がない場合でもエラー状態になりません。

4. IP アドレス設定

本体の IP アドレスや DNS サーバーなどのネットワークの設定を行います。

IP アドレス設定画面

	項目	内容
1	IP アドレス	本体のIPアドレスを設定します。Web ブラウザーからアクセスする時、このIPアドレスを使用します。 デフォルト値: 192.168.1.1
2	サブネットマスク	サブネットマスクを設定します。 デフォルト値: 255.255.255.0
3	ゲートウェイ	デフォルトゲートウェイを設定します。 デフォルト値: 0.0.0.0
4	DNS アドレス	DNS サーバーのアドレスを設定します。 デフォルト値: 0.0.0.0
5	MAC アドレス	MAC アドレスを表示します。 工場出荷設時に定済み
6	[設定]ボタン	入力した内容を本体に設定します。

5. 時計設定

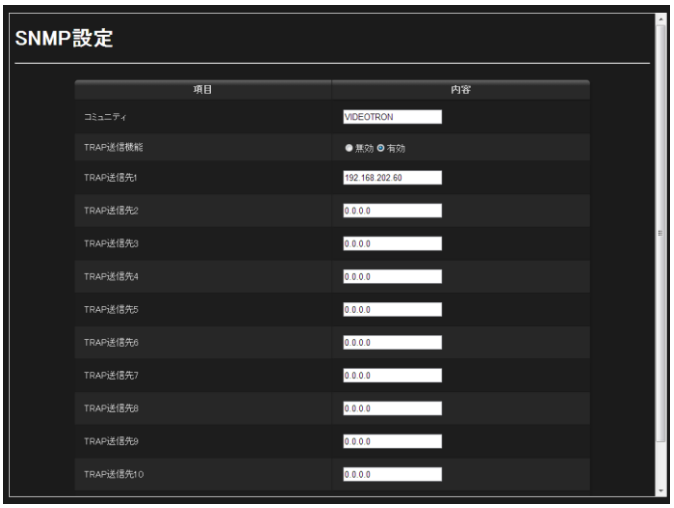
本体の時計を設定する為の SNTP クライアントの設定を行います。

時計設定画面

	項目	内容
1	現在日付	本体に設定された日付を表示します。
2	現在時刻	本体に設定された時刻を表示します。
3	[入力日時で設定]	現在日付、現在時刻の値で本体に設定を行います。
4	PC 日付	PC の日付を表示します。
5	PC 時刻	PC の時刻を表示します。
6	[PC 日時で設定]	PC 日付、PC 時刻の値で本体に設定を行います。
7	NTP サーバー有効	NTP サーバーへのアクセスを有効にします。 デフォルト値：無効
8	NTP サーバードレス	NTP サーバーのアドレスを設定します。 デフォルト値：ntp.nict.jp
9	タイムゾーン	本体のタイムゾーンを設定します。 デフォルト値：UTC +9:00
10	時刻同期を行う時刻	NTP サーバーと同期する時刻を設定します。 デフォルト値：3:00:00
11	最後に時刻校正した日付	NTP サーバーと最後に時刻校正した日付を表示します。
12	最後に時刻校正した時刻	NTP サーバーと最後に時刻校正した時刻を表示します。
13	時刻同期スロット	ON に設定すると、筐体の時刻と各モジュールの時刻の同期を行います。 デフォルト値：OFF
14	[設定]ボタン	入力した NTP サーバーの内容を本体に設定します。

6. SNMP 設定

SNMP の設定を行います。



時計設定画面

	項目	内容
1	コミュニティ	SNMP（マネージャなど）を使用し、本機器の各設定値を参照や設定をする際に使用するコミュニティ名を設定します。 この設定値が合致しないと、SNMP（マネージャなど）によるアクセスを受け付けません。 デフォルト値：「VIDEOTRON」
2	トラップ送信機能	設定を有効にすると、TRAP が発行される条件で SNMP の TRAP が発行されます。 デフォルト値：有効
3	トラップ送信先1～10	トラップを通知する SNMP（マネージャなど）のアドレスを指定します。 最大 10 ヶ所に送ることが可能です。 TRAP の送信を行わない箇所は、無効なアドレスを設定せずに必ず「設定なし（空白または 0.0.0.0）」の状態にして下さい。 無効なアドレスは本体の通信のレスポンスを低下させます。
4	[設定]ボタン	入力した内容を本体に設定します。

7. メール通知設定

SNMP の TRAP をメールで通知する設定をおこないます。

時計設定画面

	項目	内容
1	メール送信	SNMP の TRAP が発生した場合にメールで通知する設定をおこないます。 デフォルト値:無効
2	SMPT サーバー	SMPT サーバーのアドレスを設定します。 デフォルト値:(設定なし)
3	ポート番号	デフォルトゲートウェイを設定します。 デフォルト値: 25
4	認証ユーザー	認証のためのユーザ ID を設定します。 入力文字数制限:最大 63 文字。
5	認証パスワード	認証のためのユーザパスワードを設定します。 入力文字数制限:最大 31 文字。
6	送信アカウント	送信元のメールアカウントを設定します。
7	送信先メールアドレス 1～5	メールの送信先を設定します。5 件の送付先を設定できます。 デフォルト値:(設定なし) 入力文字数制限:最大 63 文字。
8	通信デバッグ	有効に設定するとメールサーバーとの通信内容をログに記録します。 通信デバッグを有効にすると処理の負荷が高くなるため通常は無効でご使用下さい。 デフォルト:無効
9	[設定]ボタン	入力された内容を本体に設定します。

8. ユーザー設定

ログインを行う各ユーザーのパスワードを設定します。

ユーザー設定画面

	項目		内容
1	管理者	パスワード	パスワードの入力を行います。
2	運用者	パスワードの再入力	パスワードの再入力を行います。
3	閲覧者	設定	入力された内容を本体に設定します。 設定されたパスワードは暗号され本体に保存されます。元のパスワードを読みだすことはできません。

10. トラブルシューティング

トラブルが発生した場合の対処方法です。

（文中の→は対処方法を示しています）

現 象 Web ブラウザーで WebServer に接続できない

原 因

・ネットワークは接続されていますか？

→ PING などで本体との接続を確認して下さい。

・本体の SNMP ボードは WebServer に対応していますか？

→ 本書の概要を参照して対応ボードの確認をおこなって下さい。

・Web ブラウザーの JavaScript は有効になっていますが？

→ Web ブラウザーの設定から JavaScript を有効にして下さい。

現 象 アクティベーションができない！

原 因

・大文字、小文字、半角、全角の入力は間違えていませんか？

→ キーボードの入力を確認してから再度おこなってみてください。

・本体のシリアル番号とライセンス書に書かれたシリアル番号は一致していますか？

→ ライセンス書に書かれたシリアル番号を確認して下さい。

・別の本体と SNMP ボードの入れ替えをおこないましたか？

→ 元の本体のシリアル番号が書かれたライセンス書をご使用下さい。

現 象 ログインができない！

原 因

・工場出荷時のパスワードは”VBUS”です。

・大文字、小文字、半角、全角の入力は間違えていませんか？

→ キーボードの入力を確認してから再度おこなってみてください。

・ユーザーの設定は間違えていませんか。

・パスワードを忘れた場合は本体を工場出荷時の状態に戻す必要があります。本体のリセットを行った場合は必ず IP アドレスなどの再設定を行ってください。

現 象 TRAP が発行されない！

原 因

・LAN ケーブルは正しく接続されていますか？

・システム設定の SNMP 設定にある TRAP 通知を有効にして下さい。

・対象モジュールの TRAP 設定にある TRAP 通知を有効にして下さい。

・SNMP ボードのマネージャーIP は正しく設定されていますか？

現 象 メールが通知されない！

原 因

・LAN ケーブルは正しく接続されていますか？

・システム設定のメール通知設定にあるメール送信を有効にして下さい。

・対象モジュールの TRAP 設定にあるメールを有効にして下さい。

現 象 モジュールが認識されない！

原 因

・WebServer に対応していない Vbus モジュールは認識されません。

・モジュールが本体に正常に装着されていますか。

→本体取扱説明書を参照しモジュールの装着を行ってください。

お問い合わせは、当社製造技術部までご連絡ください。

付録 1　各モジュールの機能対応表

記載されていないモジュールにつきましてはお問い合わせください。

カテゴリー	型番	機能						
		モジュール認識	入力信号	SNMP表示	SNMP設定	コントロール	ログ	TRAP通知設定
分配器	VDA-70B	○	○	○	×	×	×	○
	ADA-70S	○	○	×	×	×	×	○
	ADA-70A	×	×	×	×	×	×	×
	DDA-70S	○	○	○	×	×	×	○
	DDA-70V	○	○	○	×	表示のみ	×	○
	DDA-70AES-L	○	○	○	○	○	×	○
フレーム シンクロナイザー	FS-70B	○	○	○	×	×	×	○
	FSL-70W	○	○	○	×	×	×	○
	FS-70M	○	○	○	○	○	×	○
	FS-70MT	○	○	○	×	×	×	○
	DLY-70V	○	○	○	○	○	×	○
スイッチャー	SW-70-212	○	○	○	○	○	×	○
	MTX-70	○	○	○	○	○	×	○
	MTX-70G-84	×	×	×	×	×	×	×
	MTX-70S-84	×	×	×	×	×	×	×
	SW-70HD/SD	○	△※1	○	×	表示のみ	×	○
	CHO-70SDI	○	○	○	○	○	×	○
音声関連	LDC-70HD/SD	○	○	○	○	○	×	○
	MUX-70B	○	○	○	×	×	×	○
	MUX-70R	○	○	○	○	○	×	○
	MUX-70V	○	○	○	○	○	×	○
	MUX-70V-A	○	○	○	○	○	×	○
	MUX-70V-D	○	○	○	○	○	×	○
	DMX-70B	○	○	○	○	○	×	○
	DMX-70B-A2	○	○	○	○	○	×	○
	DMX-70B-A4	○	○	○	○	○	×	○
	DMX-70HD/SD	○	△※3	○	×	×	×	○
キーヤー装置	CK-70B	○	○	○	×	×	×	○
	CK-70W	○	○	○	○	○	×	○
	CK-70WB	○	○	○	○	○	×	○
	EMG-70	○	○	○	×	表示のみ	×	○
ムービーファイル	MF-70V	○	○	○	○	○※2	×	○
	MF-70V-CK	○	○	○	○	○※2	×	○
タイムコード関連	TCI-70HD/SD	○	○	○	○	○	×	○
コンテンツインジケーター	CI-70V	○	×	○	○	○	×	○
タイトルジェネレーター	TG-70V	○	○	○	○	○	×	○
	TG-70C	○	○	○	×	×	×	○
ロゴジェネレーター	LG-70V	○	○	○	○	○	×	○
パターンジェネレーター	PG-70V	○	○	○	○	○	×	○
GPI インターフェース	GPI-70B	○	○	○	×	×	×	○
タイマー								
	VT-70V	×	×	×	×	×	×	×
	TLG-70SB	○	○	○	○	○	×	○
	TLG-70V	○	×	○	×	表示のみ	×	○
	TLG-70VC	○	×	○	×	×	×	○
	TLG-70VC-L	○	×	○	×	×	×	○
シグナルジェネレーター	SG-70HD	○	×	○	×	表示のみ	×	○
エラー監視	SM-70HD/SD	○	○	○	×	表示のみ	×	○
	SMS-70V	○	○	○	○	○	○	○
ネットキュー	QRS-70B	○	○	○	×	表示のみ	×	○
A/D コンバーター	ADC-70BSD-E	○	○	○	○	×	×	○
	ADC-70HD-DC	×	×	×	×	×	×	×
	ADC-70AES2	×	×	×	×	×	×	×
D/A コンバーター	DAC-70AES2	×	×	×	×	×	×	×
アップコンバーター	SHC-70V-A	○	○	○	○	×	×	○

	SHC-70V	○	○	○	○	×	×	○
ダウンコンバーター	HSC-70V	○	○	○	×	×	×	○
	HSC-70V-A	○	○	○	×	×	×	○
	HSC-70V-AR	○	○	○	×	×	×	○
マルチビューアー	MV-70J	○	○	○	×	×	×	○
L 字装置	LM-70HD/SD	○	○	○	×	表示のみ	×	○
旧モジュール	SW-70-422	○	―	○	○	○	×	○
	HSC-70D	×	×	×	×	×	×	×
	RS-70HD/SD	○	○	○	×	表示のみ	×	○
	HSC-70HD	×	×	×	×	×	×	×
	HSC-70C	×	×	×	×	×	×	×
	HSC-70B-DG	×	×	×	×	×	×	×
	MUX-70HD/SD	×	×	×	×	×	×	×
	ADA-70A	×	×	×	×	×	×	×
	ADC-70HD-E	○	○	○	×	×	×	○
	LK-70HD/SD-CK1	○	△※1	○	×	×	×	○
	LK-70HD/SD-CK2	○	△※1	○	×	×	×	○
	KM-70HD/SD	×	×	×	×	×	×	×
	SMS-70HD/SD	○	×	×	×	表示のみ	×	×

※1 リファレンス入力の表示が行えません。

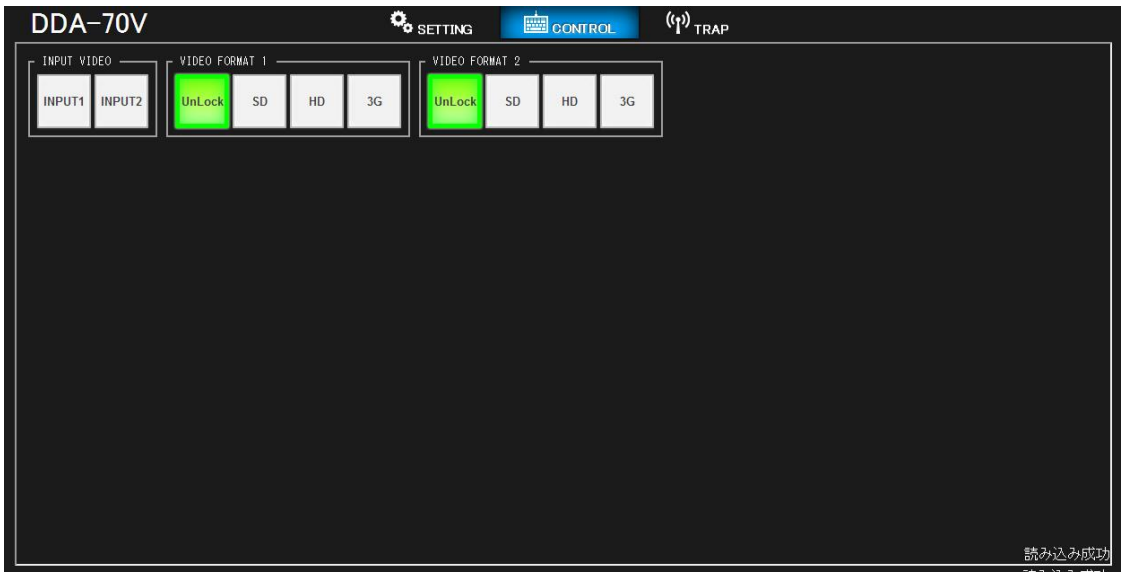
※2 コントロール対応は 2014/5 以前に出荷された基板では、MF-70V または MF-70V-CK ファームウェアのバージョンアップが必要です。

※3 一部の入力信号の表示のみ可能。

付録 2　各モジュールのコントロール画面

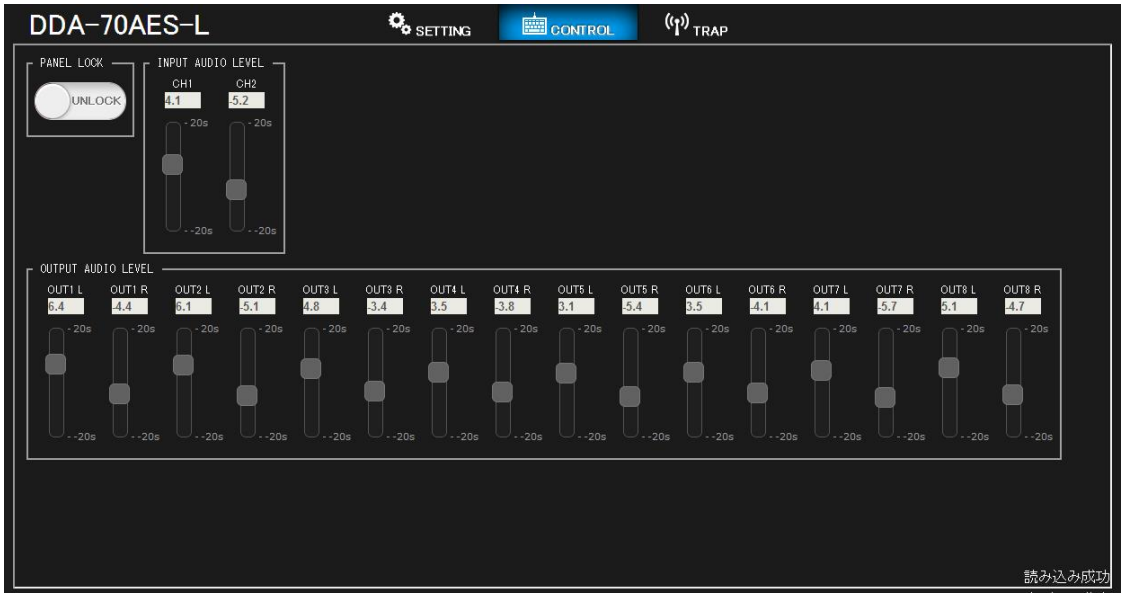
各機能の詳細はモジュールごとの取扱説明書を参照して下さい。

(1)　DDA-70V



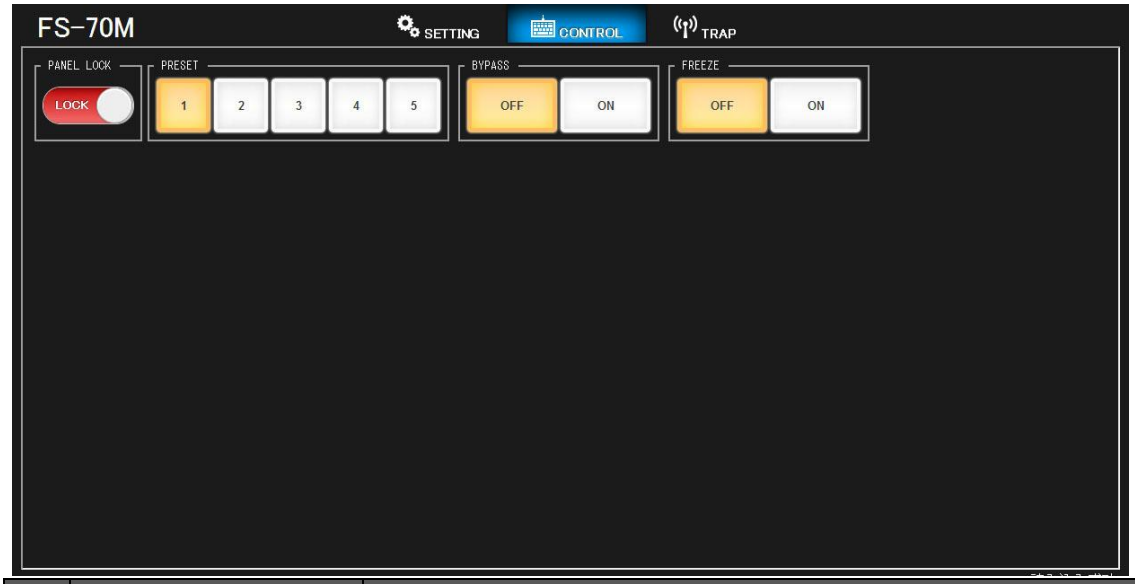
	項目	内容
1	INPUT VIDEO	SDI IN CH1/ CH2 の入力信号の状態を表示。リクロック可能な信号が入力された時、緑点灯。
2	VIDEO FORMAT 1	SDI IN CH1 の入力信号のフォーマットを表示。
3	VIDEO FORMAT 2	SDI IN CH2 の入力信号のフォーマットを表示。1 入力 8 分配モードでは非表示。

(2)　DDA-70AES-L



	項目	内容
1	PANEL LOCK	パネルロック(操作禁止)ボタン
2	INPUT AUDIO LEVEL	音声入力レベルを±20.0dB の範囲で調整、プリセットできます。
3	OUTPUT AUDIO LEVEL	音声出力レベルを±20.0dB の範囲で調整、プリセットできます。 オフセットモード時は音声出力レベルのオフセットを設定できます。

(3) FS-70M

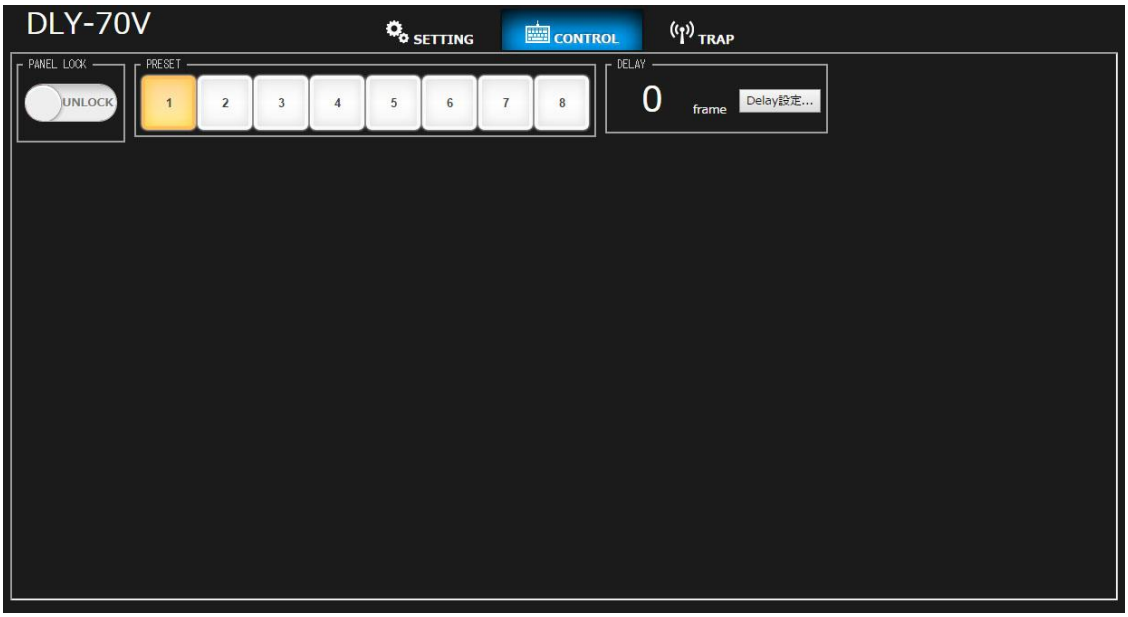


	項目	内容
1	PANEL LOCK	パネルロック(操作禁止)ボタン
2	PRESET	プリセット 1～5 に設定
3	BYPASS	バイパスの ON/OFF の設定
4	FREEZE	フリーズの ON/OFF の設定

※1 WebServer からの制御を有効にするには基板上の DipSW-7 を OFF に設定します。

※2 WebServer からの制御を有効にするには SETTING から fs70mAudioControl を remote に設定します。

(4) DLY-70V



	項目	内容
1	PANEL LOCK	パネルロック(操作禁止)ボタン
2	PRESET	プリセット 1～8 を設定
3	DELAY	現在のディレイ値を表示
4	Delya 設定	ディレイ設定ダイアログを開く

ディレイ設定ダイアログ

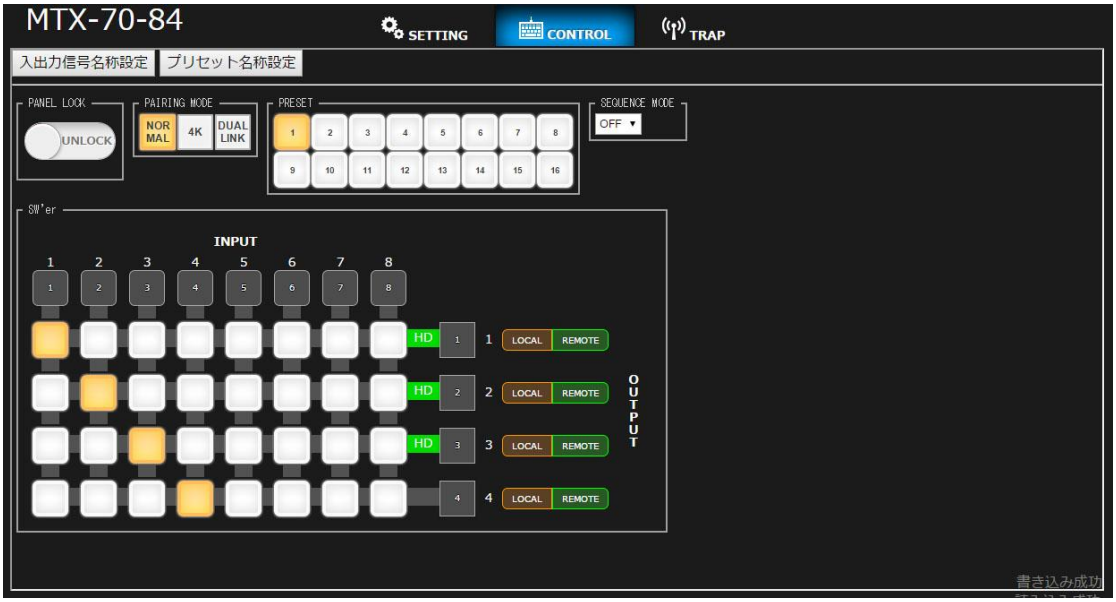
	項目	内容
1	Delay 値	設定するディレイ値を入力
2	設定	入力したディレイ値を現在選択中のプリセット番号に設定
3	DELAY	設定をキャンセル

(5) SW-70-212

	項目	内容
1	PANEL LOCK	パネルロック(操作禁止)ボタン
2	GPI INPUT SELECT	GPI で選択している出力チャンネル 1, 2 に出力する入力チャンネルを表示
3	OUTPUT SELECT	出力チャンネル 1, 2 に出力する入力チャンネルの設定

(6) MTX-70

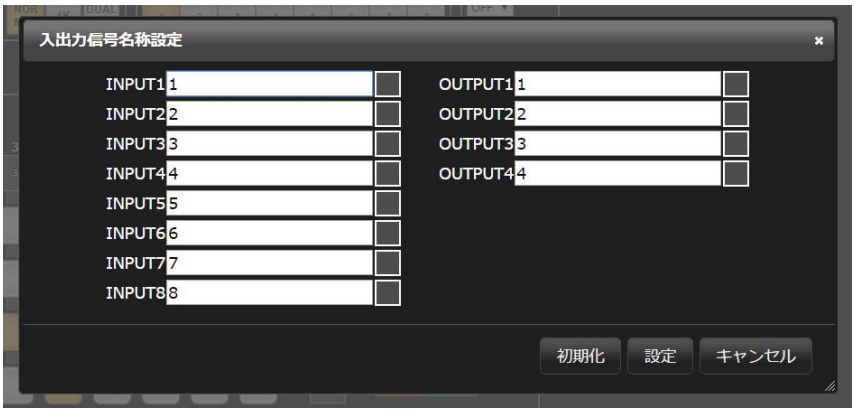
① 制御画面



※画面は MTX-70-84

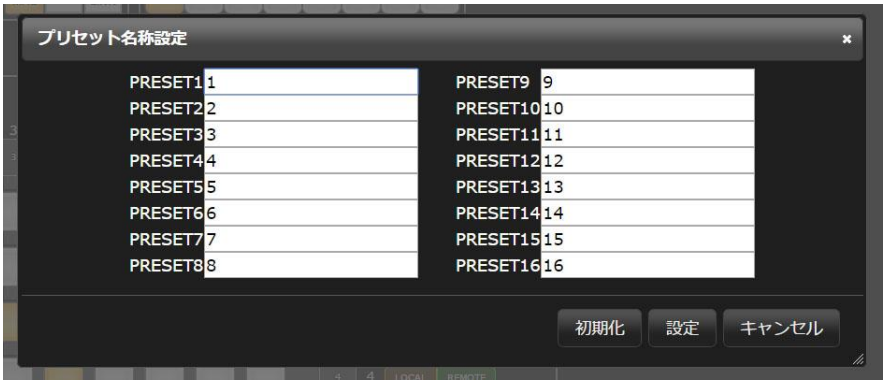
	項目	内容
1	PANEL LOCK	パネルロック(操作禁止)ボタン
2	PAIRING MODE	ペアリングモード(NORMAL/4K/DUAL LINK)を表示します。
3	PRESET	プリセット(1～16)ボタン
4	SEQUENCE MODE	シーケンスモードの設定
5	SW'er	クロスポイントの設定やローカル・リモートなどの設定
6	入力信号名称設定	入力信号名称設定のダイアログを表示
7	プリセット名称設定	プリセット名称設定のダイアログを表示

② 入力信号名称設定



	項目	内容
1	INPUT1～8	入力信号のボタン名称(最大 9 文字)とボタンカラーを設定
2	OUTPUT1～4	出力信号のボタン名称(最大 9 文字)とボタンカラーを設定
3	初期化	ボタン名称とボタンカラーを初期値に戻す
4	設定	設定した内容を反映
5	キャンセル	設定した内容をキャンセルし元の状態に戻す

③ プリセット名称設定

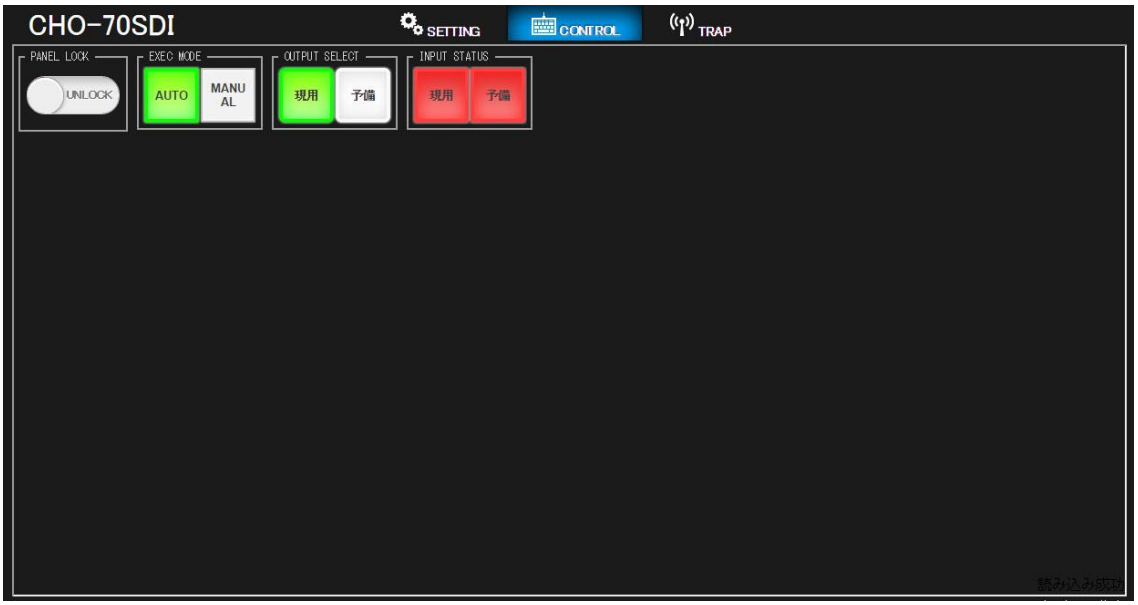


	項目	内容
1	PRESET1～16	プリセットのボタン名称(最大 9 文字)を設定
2	初期化	ボタン名称とボタンカラーを初期値に戻す
3	設定	設定した内容を反映
4	キャンセル	設定した内容をキャンセルし元の状態に戻す

(7) SW-70HD/SD

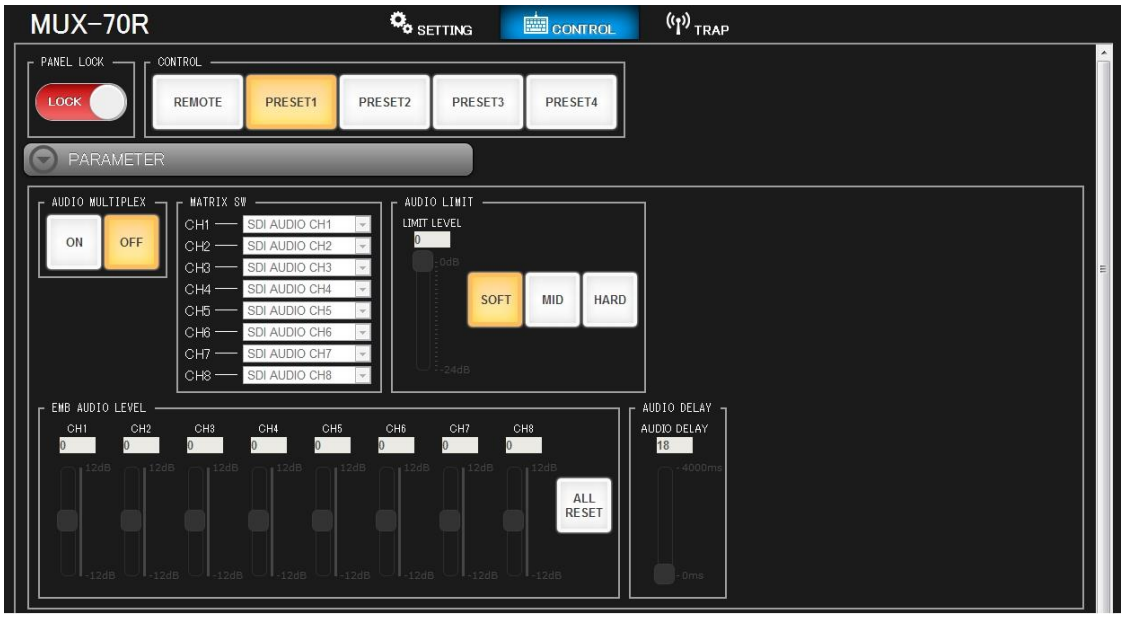
	項目	内容
1	PROGRAM	PROGRAM が選択している入力信号を表示(表示のみ)
2	PRESET	プリセットの値 (表示のみ)
3	TAKE	TAKE 実行(表示のみ)

(8) CHO-70SDI



	項目	内容
1	PANEL LOCK	パネルロック(操作禁止)ボタン。
2	EXEC MODE	現在の実行モード(AUTO/MANUAL)を表示
3	OUTPUT SELECT	出力系統(現用系/予備系)の切り替え
4	INPUT STATUS	入力信号のエラー状態を表示

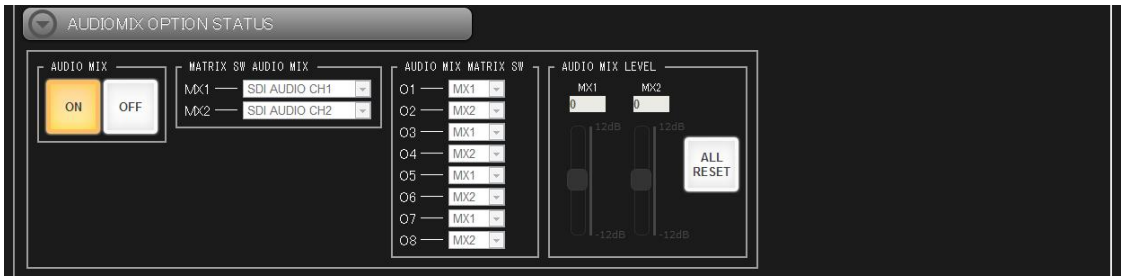
(9) MUX-70R



	項目	内容
1	PANEL LOCK	パネルロック(操作禁止)ボタン
2	CONTROL	REMOTE、PRESET1～4 の切り替え
3	AUDIO MULTIPLEX	音声マルチプレックスの ON/OFF を設定
4	MATRIX SW	出力エンベデッド音声(1ch～8ch)のマッピングパターンを選択
5	AUDIIO LIMIT	音声リミッターレベル(24dB～0dB の範囲)とエッジ(SOFT/MID/HARD)を設定
6	EMB AUDIO LEVEL	出力エンベデッド音声の 8chの音声レベル(-12dB～+12dB)を設定
7	AUDIO DELAY	出力音声信号の遅延時間(1ms ステップで最大 4s)を設定

MUX-70R-04 ダウンミックスオプション

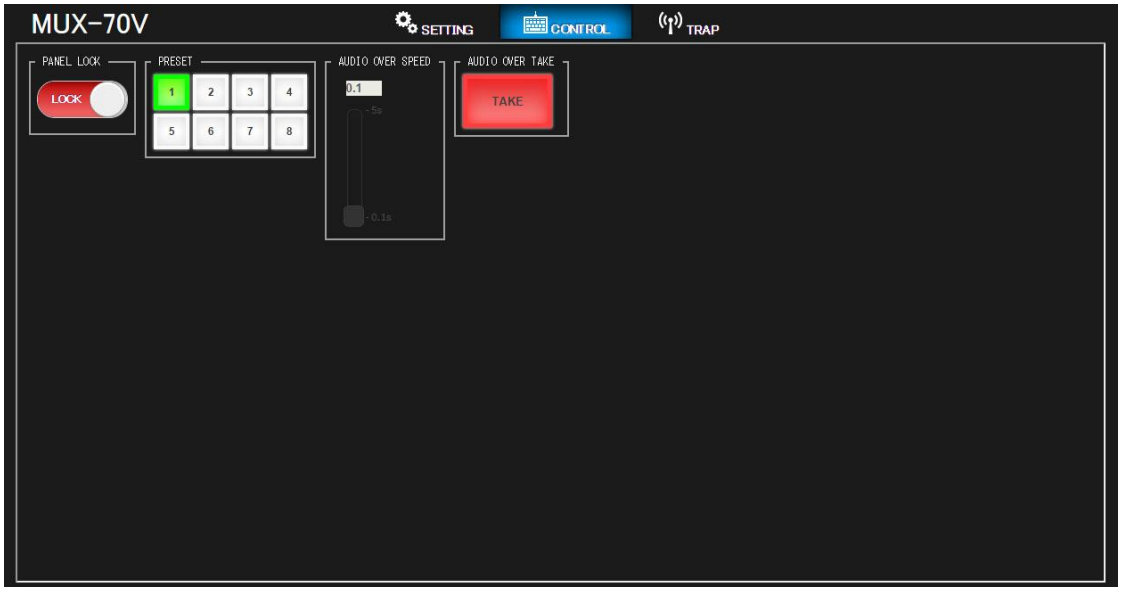
	項目	内容
1	DOWN MIX	入力音声のダウンミックスを ON/OFF を設定
2	MATRIX SW DOWN MIX	ダウンミックス専用(C、L、R、Ls、Rs、LFE)のマッピングパターンを選択
3	DOWN MIX PATTERN	ダウンミックスした Lmix/Rmix のマッピングパターンを選択
4	DOWN MIX LEVEL	ダウンミックスの係数(-12dB～+12dB の範囲)を設定



MUX-70R-05 オーディオミックスオプション

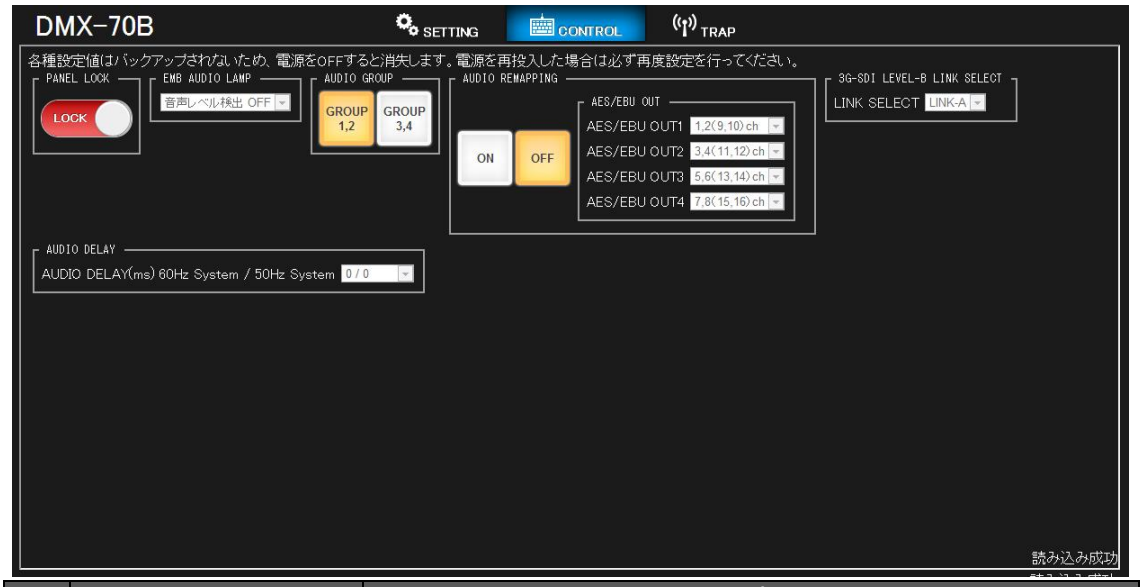
	項目	内容
1	AUDIO MIX	入力音声のオーディオミックス ON/OFF を設定
2	MATRIX SW AUDIO MIX	ダウンミックス専用(CH1、CH2)のマッピングパターンを選択
3	AUDIO MIX MATRIX SW	出力音声 CH1～CH8 にミックスする音声を選択
4	AUDIO MIX LEVEL	オーディオミックスの係数(-12dB～+12dB の範囲)を設定

(10) MUX-70V
(11) MUX-70V-A
(12) MUX-70V-D



	項目	内容
1	PANEL LOCK	パネルロック(操作禁止)ボタン
2	PRESET	プリセット番号を1～8から選択します。プリセット番号を切り替えることで、8種類の設定パターンを切り替えて使用できます。プリセット対象となる設定は、モジュール本体の設定で行います。
3	AUDIO OVER SPEED	オーディオオーバーのフェード時間を 0.1～5.0 秒の範囲で設定します。
4	AUDIO OVER TAKE	オーディオオーバーのフェードイン・フェードアウトを実行します。テイクを実行するたびにフェードイン・フェードアウトが切り替わります。

(13) DMX-70B



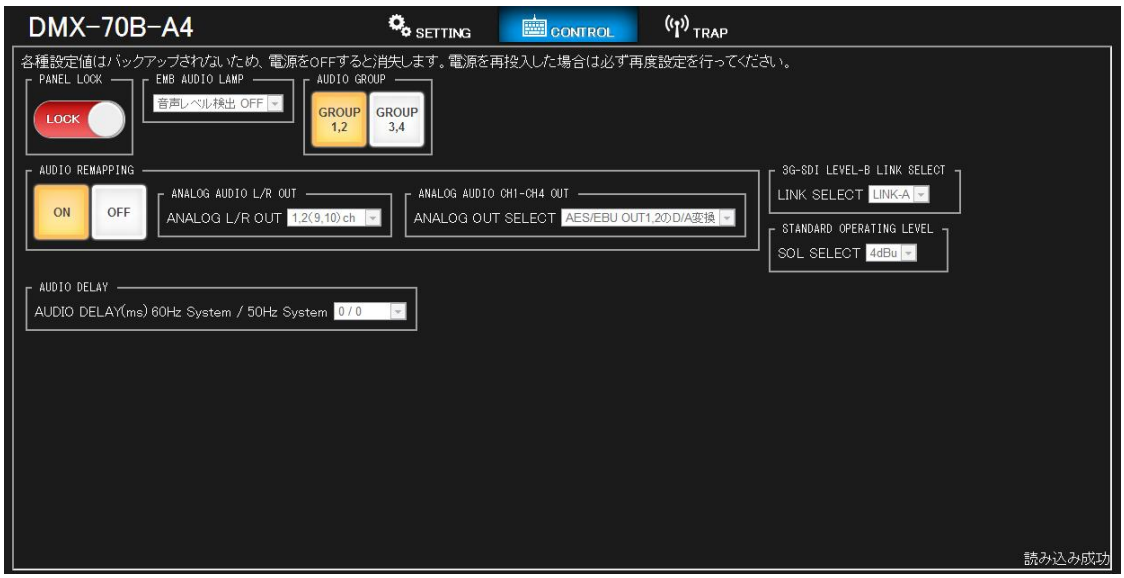
	項目	内容
1	PANEL LOCK	パネルロック(操作禁止)ボタン
2	EMB AUDIO LAMP	EMB AUDIO ランプの表示設定
3	AUDIO GROUP	音声グループ(GROUP1,2/GROUP3,4)の選択
4	AUDIO REMAPPING	音声出力チャンネルをリマッピングの ON、OFF および AES/EBU 音声出力チャンネル 1～4 をリマッピング
5	3G-SDI LEVEL-B LINK SELECT	入力信号が 3G-SDI LEVEL-B のとき、LINK-A または LINK-B の音声を AES/EBU 出力に設定

6	AUDIO DELAY	1/4 フレームステップ(60Hz 系:約 8ms、50Hz 系:約 10ms)で最大 4 フレーム(60Hz 系:約 134ms、50Hz 系:約 160ms)まで遅延

(14) DMX-70B-A2

	項目	内容
1	PANEL LOCK	パネルロック(操作禁止)ボタン
2	EMB AUDIO LAMP	EMB AUDIO ランプの表示設定
3	AUDIO GROUP	音声グループ(GROUP1,2/GROUP3,4)の選択
4	AUDIO REMAPPING	音声出力チャンネルをリマッピングの ON、OFF およびアナログ音声出力チャンネル L/R OUT をリマッピング
5	3G-SDI LEVEL-B LINK SELECT	入力信号が 3G-SDI LEVEL-B のとき、LINK-A または LINK-B の音声を AES/EBU 出力に設定
6	AUDIO DELAY	1/4 フレームステップ(60Hz 系:約 8ms、50Hz 系:約 10ms)で最大 4 フレーム(60Hz 系:約 134ms、50Hz 系:約 160ms)まで遅延

(15) DMX-70B-A4

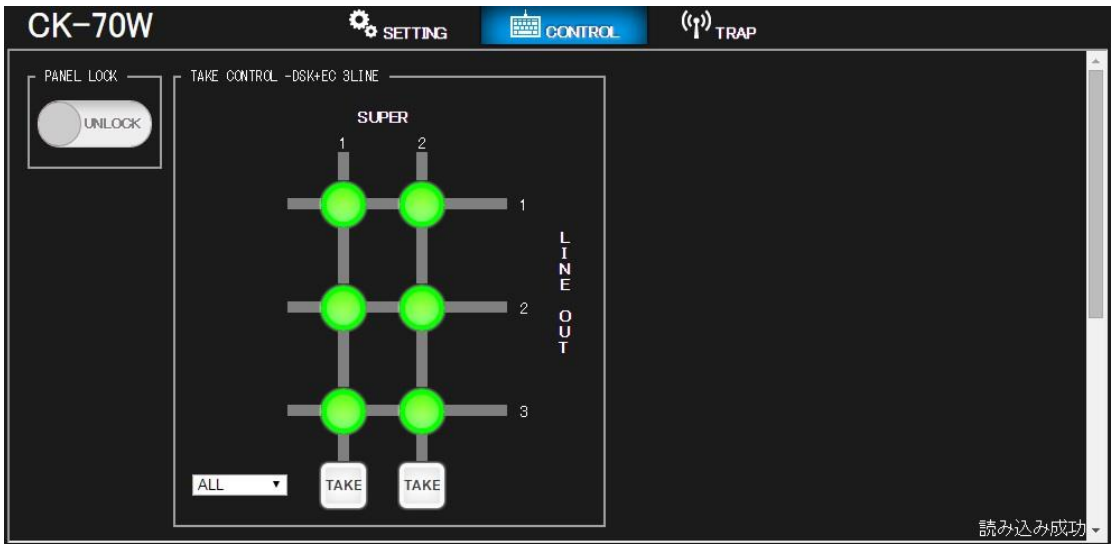


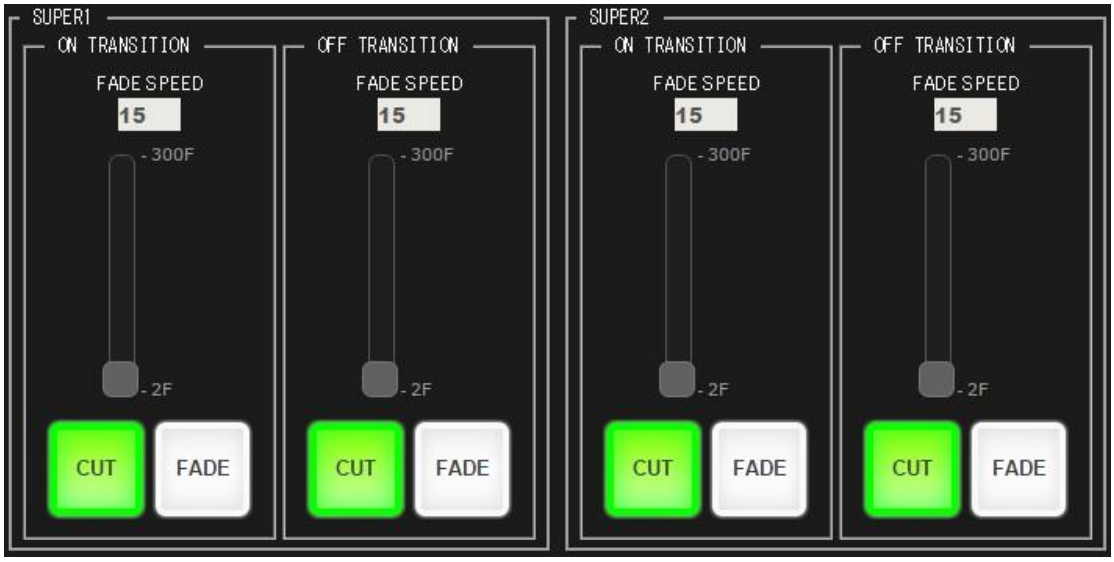
	項目	内容
1	PANEL LOCK	パネルロック(操作禁止)ボタン
2	EMB AUDIO LAMP	EMB AUDIO ランプの表示設定
3	AUDIO GROUP	音声グループ(GROUP1,2/GROUP3,4)の選択
4	AUDIO REMAPPING	音声出力チャンネルをリマッピングの ON、OFF およびアナログ音声出力チャンネル L/R OUT のリマッピングと ANALOG AUDIO OUT の選択

5	3G-SDI LEVEL-B LINK SELECT	入力信号が 3G-SDI LEVEL-B のとき、LINK-A または LINK-B の音声を AES/EBU 出力に設定
6	AUDIO DELAY	1/4 フレームステップ(60Hz 系:約 8ms、50Hz 系:約 10ms)で最大 4 フレーム(60Hz 系:約 134ms、50Hz 系:約 160ms)まで遅延

(16) CK-70W

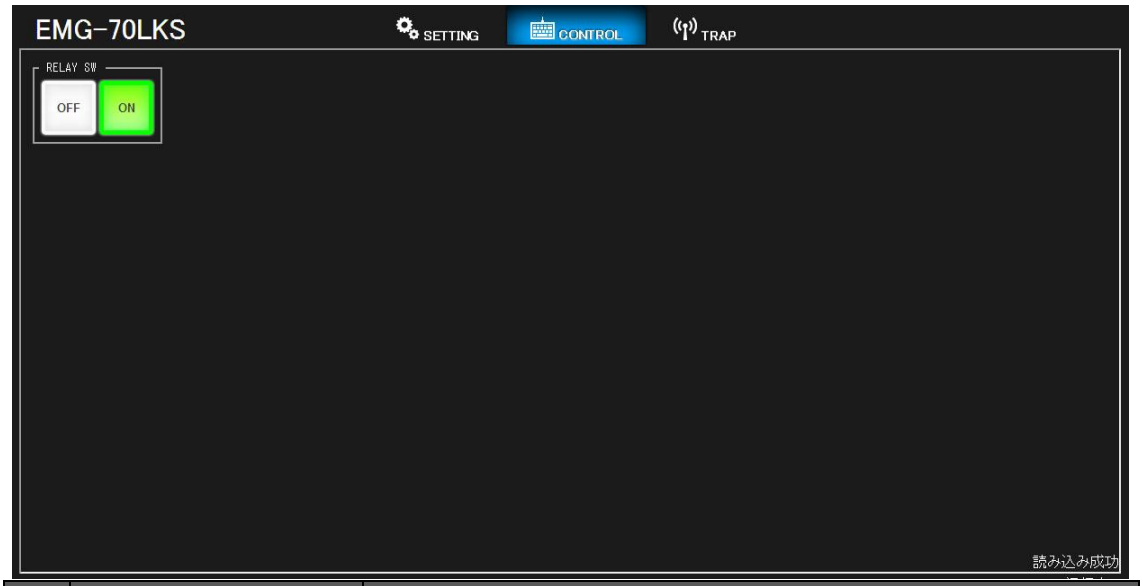
(17) CK-70WB





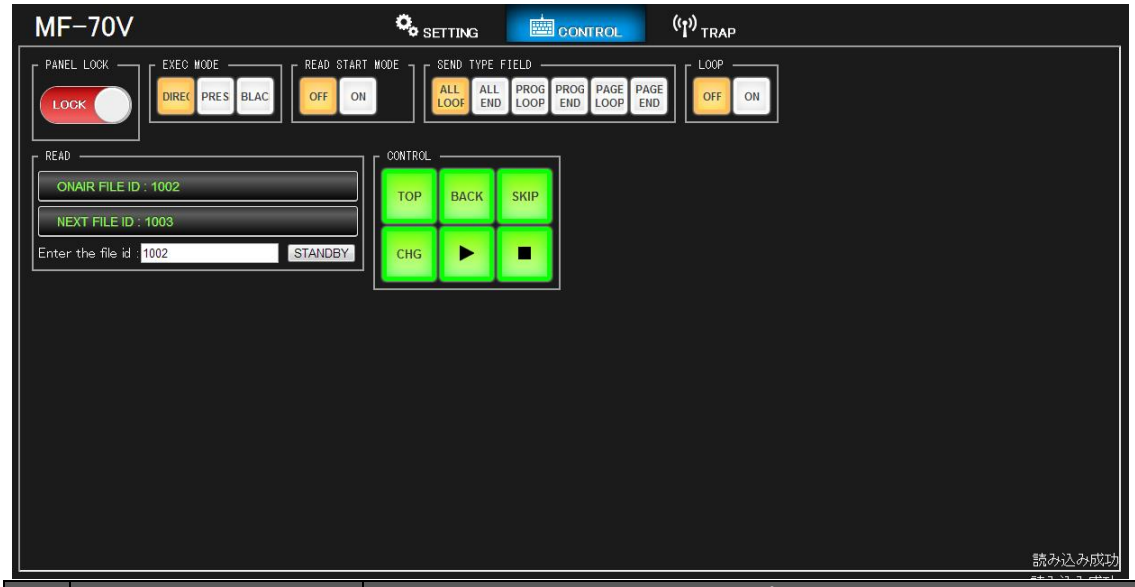
	項目	内容
1	PANEL LOCK	パネルロック(操作禁止)ボタン。
2	TAKE CONTROL	各ラインのテイク、またはアサインテイクを実行。 各ラインのテイクは赤色で TAKE ON です。 アサインテイクは橙色で TAKE ON です。
3	SUPER1	スーパー1 のトランジションの設定。
4	SUPER2	スーパー2 のトランジションの設定。

(18) EMG-70LK



	項目	内容
1	RELAY SW	リレースイッチの ON/OFF

(19) MF-70V



	項目	内容
1	PANEL LOCK	パネルロック(操作禁止)ボタン
2	EXEC MODE	ファイルの送出形式を DIRECT/PRESET/BLACK から選択
3	READ START MODE	ファイル選択時の動画再生設定
4	SEND TYPE FIELD	送出時のファイル読み出し範囲のタイプの設定
5	LOOP	LOOP 再生の設定
6	ONAIR FILE ID	ONAIR のファイル ID を表示
7	NEXT FILE ID	NEXT のファイル ID を表示
8	Enter the file id	STANDBY するファイル ID(ファイル番号)を入力
9	CONTROL	TOP、BACK、SKIP、STOP、CHG、PLAY、STOP の操作

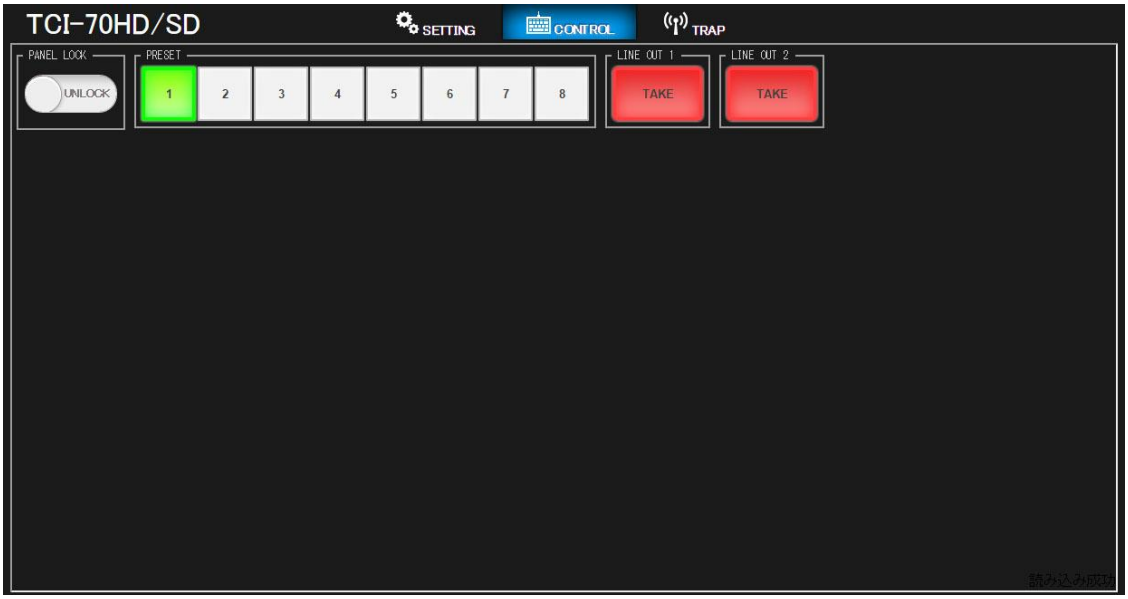
※1 コントロール対応は 2014/5 以前に出荷された基板では、MF-70V ファームウェアのバージョンアップが必要です。

(20) MF-70V-CK

	項目	内容
1	PANEL LOCK	パネルロック(操作禁止)ボタン
2	EXEC MODE	ファイルの送出形式を DIRECT/PRESET/BLACK から選択
3	READ START MODE	ファイル選択時の動画再生設定
4	SEND TYPE FIELD	ファイル選択時の動画再生設定
5	ON TAKE TYPE	ON TAKE 時のトランジションの設定
6	OFF TAKE TYPE	OFF TAKE 時のトランジションの設定
7	LOOP	LOOP 再生の設定
8	ONAIR FILE ID	ONAIR のファイル ID を表示
9	NEXT FILE ID	NEXT のファイル ID を表示
10	Enter the file id	STANDBY するファイル ID(ファイル番号)を入力
11	CONTROL	TOP、BACK、SKIP、STOP、CHG、PLAY、STOP の操作
12	TAKE	TAKE の ON / OFF を設定

※1 コントロール対応は 2014/5 以前に出荷された基板では、MF-70V-CK ファームウェアのバージョンアップが必要です。

(21) TCI-70HD/SD



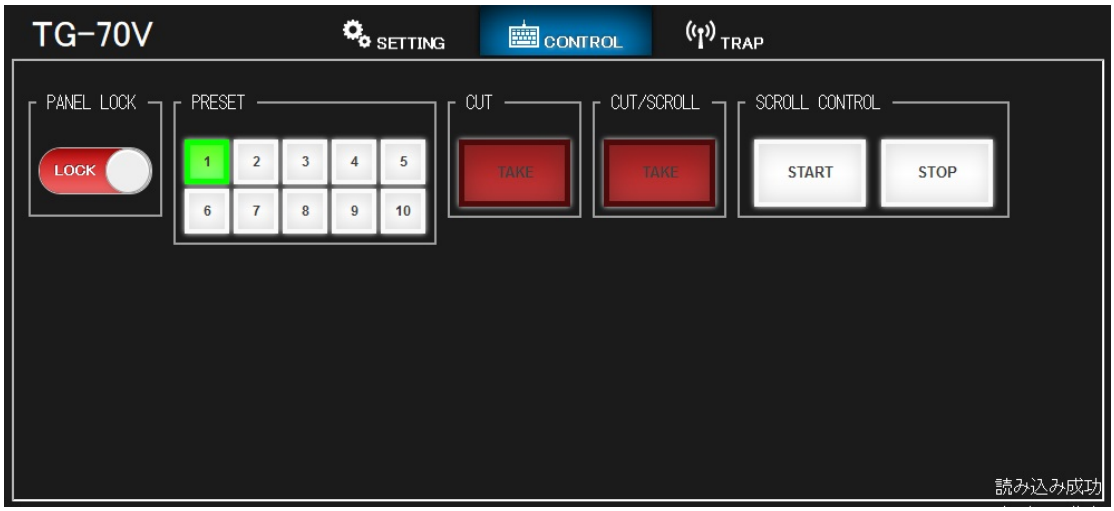
	項目	内容
1	PANEL LOCK	パネルロック(操作禁止)ボタン
2	PRESET	使用中のプリセット番号表示

3	LINE OUT 1	LineOut1 のタイムコードの ON/OFF
4	LINE OUT 2	LineOut2 のタイムコードの ON/OFF

(22) CI-70V

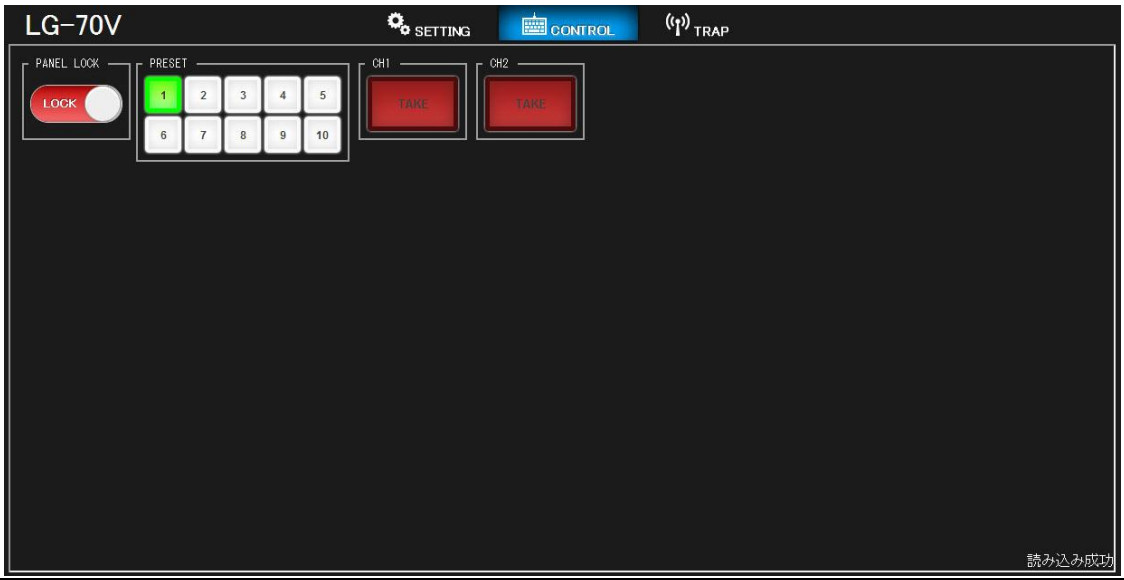
	項目	内容
1	PANEL LOCK	パネルロック(操作禁止)ボタン
2	DISPLAY	テロップおよびリメインタイムの表示を設定
3	COUNT DOWN	カウントダウンを開始
4	CONTROL	キューアップ、イジェクトの制御
5	TELOP TITLE	テロップタイトルの設定

(23) TG-70V



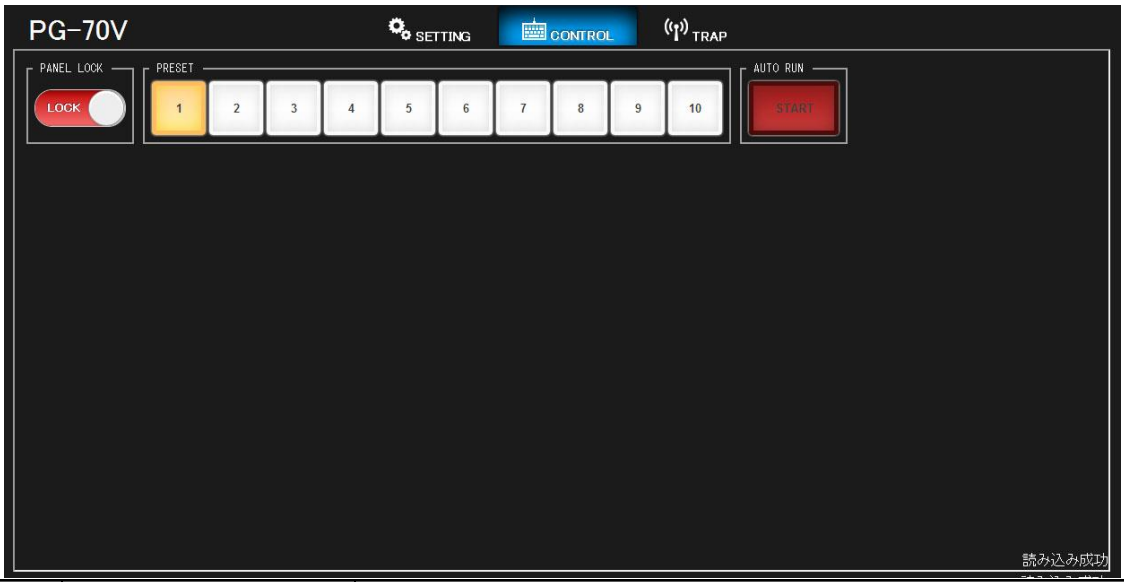
	項目	内容
1	PANEL LOCK	パネルロック(操作禁止)ボタン。
2	PRESET	プリセット 1～10 の設定。
3	CUT	カットテイクを実行。
4	CUT/SCROLL	カット またはスクロールテイクを実行。 カットテイクかスクロールテイクは本体の設定で選択します。
5	SCROLL CONTROL	スクロールのスタート, ストップの操作。

(24) LG-70V



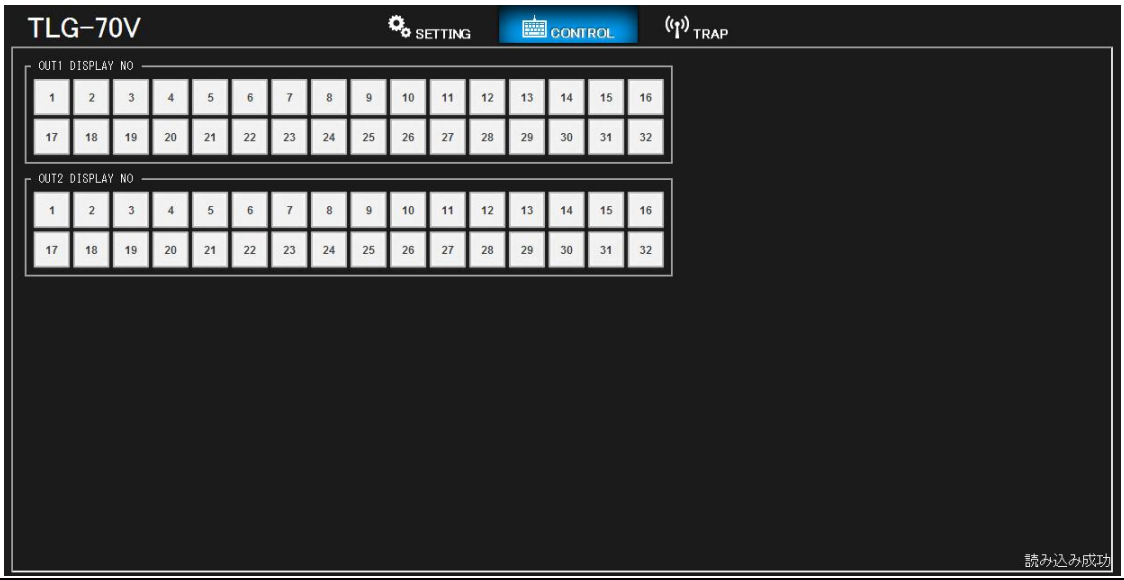
	項目	内容
1	PANEL LOCK	パネルロック(操作禁止)ボタン
2	PRESET	プリセット 1～10 に設定
3	CH1	CH1 に設定された画像を TAKE
4	CH2	CH2 に設定された画像を TAKE

(25) PG-70V



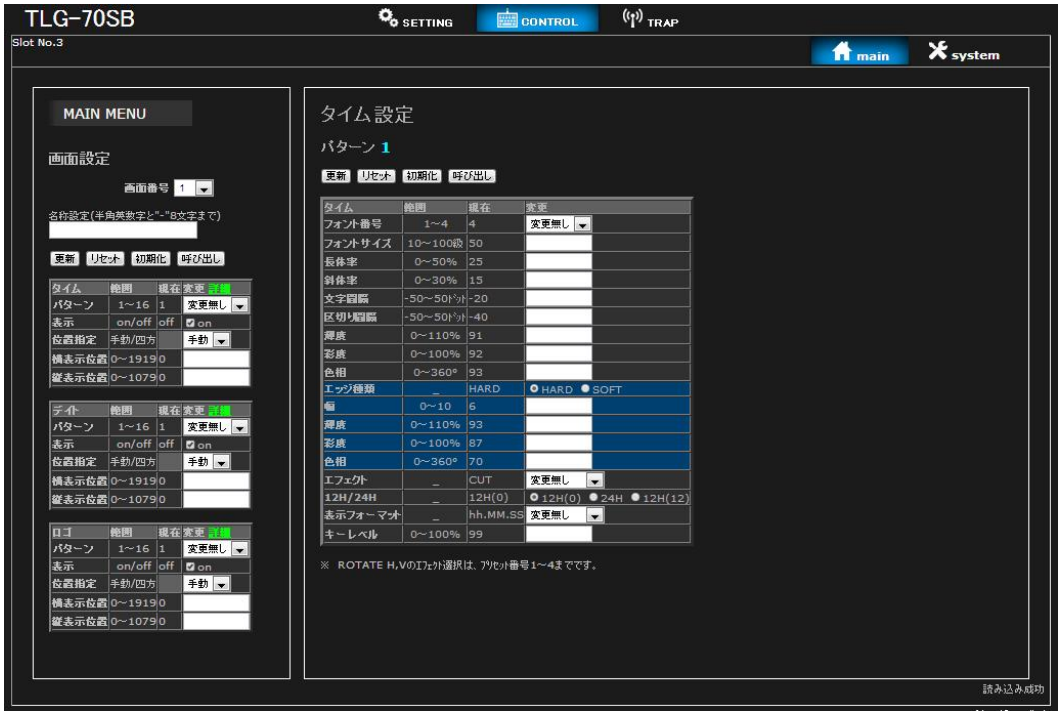
	項目	内容
1	PANEL LOCK	パネルロック(操作禁止)ボタン
2	PRESET	プリセット 1～10 に設定
3	AUTO RUN	プリセットに登録された AUTO RUN を実行

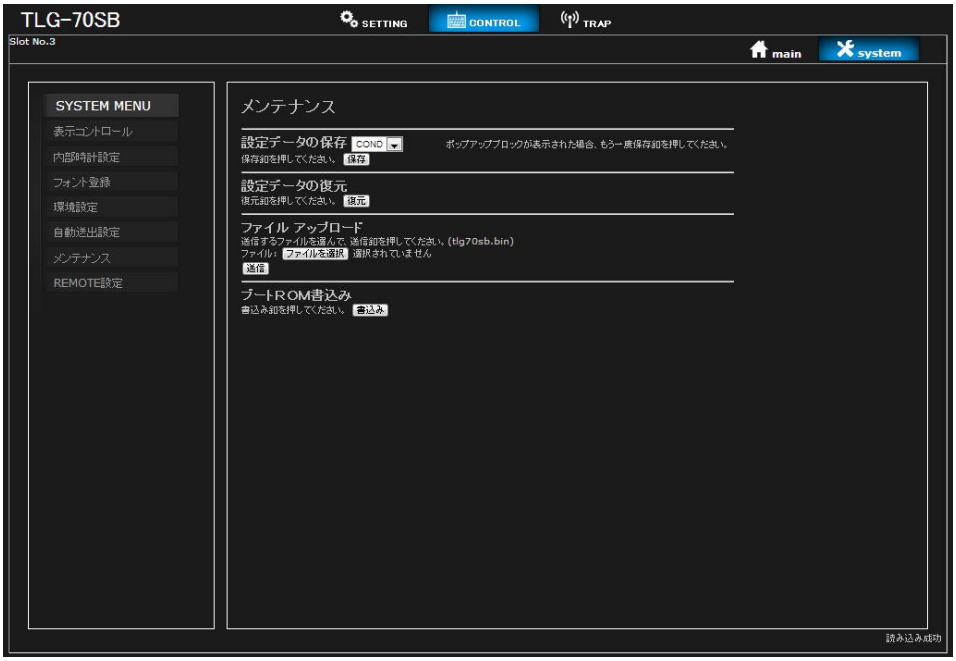
(26) TLG-70V



	項目	内容
1	OUT1 DISPLAY NO	現在の OUT1 の画面番号を表示(変更はできません)
2	OUT2 DISPLAY NO	現在の OUT2 の画面番号を表示(変更はできません)

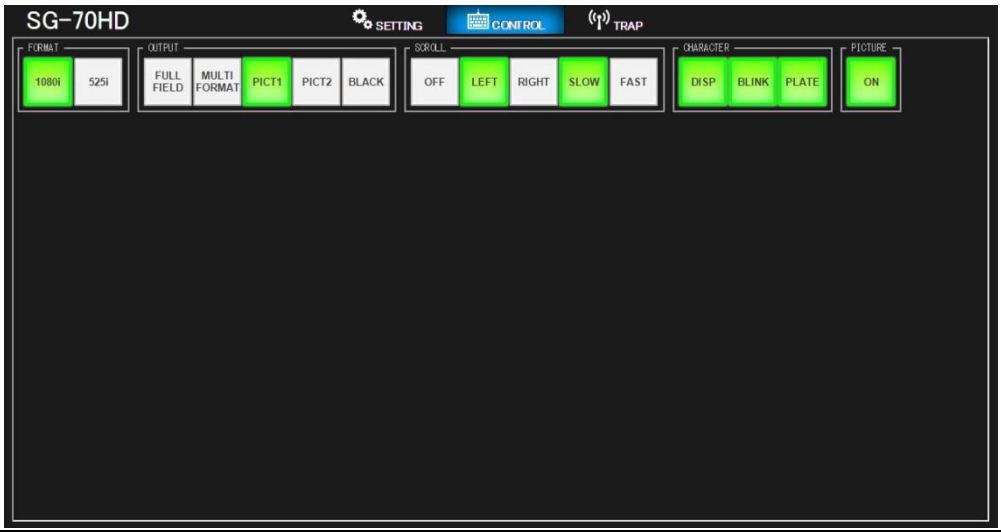
(27) TLG-70SB





	項目	内容
1	画面設定	画面表示に関する設定。 タイム設定、デイト設定、ロゴ登録が可能。
2	表示コントロール	タイム、デイト、ロゴの表示コントロール。
	内部時計設定	内部時計に関する設定。
	フォント登録	使用するフォントの設定。
	環境設定	時刻表示に関する環境設定。 リファレンス、位相、時刻オフセット、エフェクト、TEST モード。
	自動送出設定	自動送出に関する設定。
	メンテナンス	プログラムアップロード、設定データの保存、復元。
	REMOTE 設定	外部制御用 REMOTE コネクタのピンアサインを設定。

(28) SG-70HD



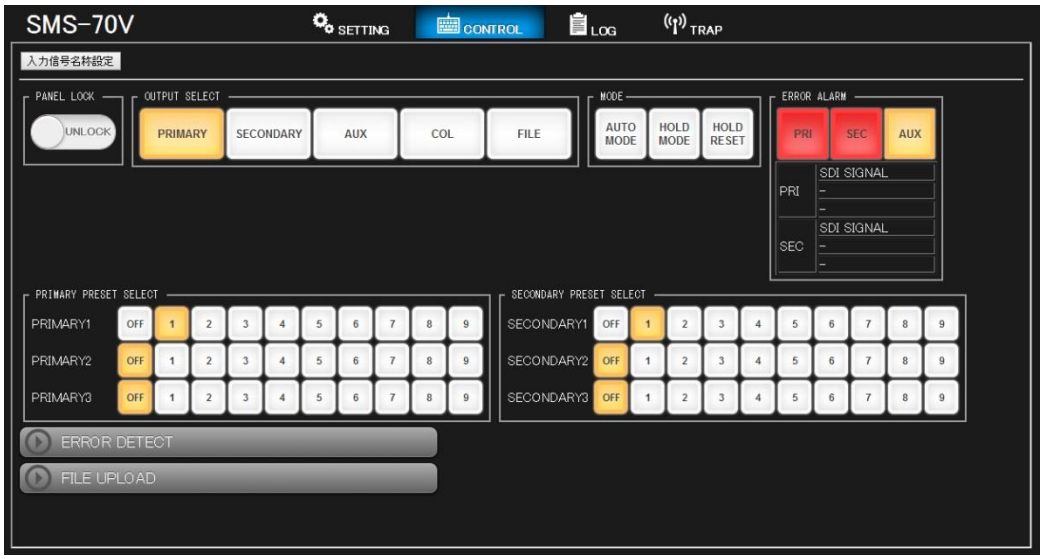
	項目	内容
1	FORMAT	出力フォーマットの状態を表示
2	OUTPUT	出力映像の状態を表示
3	SCROLL	ロール設定の状態を表示
4	CHARACTER	ID キャラクター表示の状態を表示
5	PICTURE	ピクチャー表示の設定を表示

(29) SM-70HD/SD

	項目	内容
1	STATUS	入力信号の状態を表示

(30) SMS-70V

① 制御画面



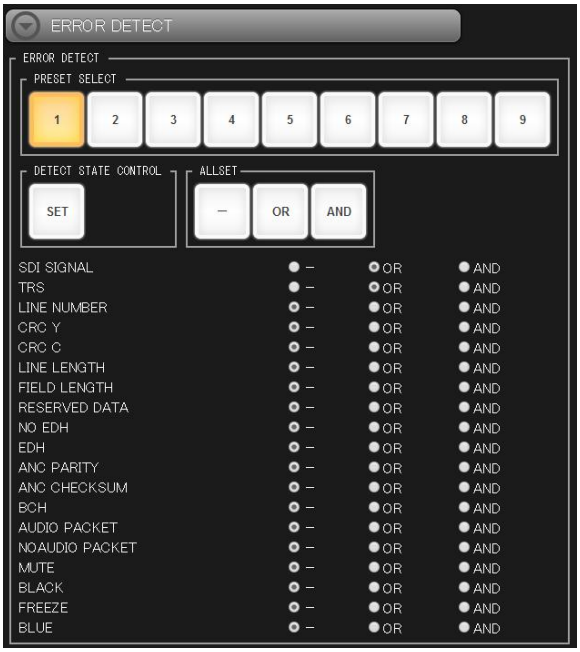
	項目	内容
1	入力信号名称設定	PRIMARY、SECONDARY、AUX ボタンに任意の名称を設定
2	PANEL LOCK	パネルロック(操作禁止)ボタン
3	OUTPUT SELECT	PRIMARY、SECONDARY、AUX、COL、FILE※1 から SDI OUT1 の出力を設定（AUTO MODE が ON の場合は自動切り替えが優先）
4	AUTO MODE	オートモードの ON/OFF を設定
5	HOLD MODE	ホールドモードの ON/OFF を設定
6	HOLD RESET	ホールドされたエラーのアラームをリセット
7	ERROR ALARM	PRIMARY、SECONDARY のアラーム状態とエラーの内容、AUX のアラーム状態を表示
8	PRIMARY PRESET SELECT	PRIMARY PRESET 1、2、3 のプリセット番号を選択
9	SECONDARY PRESET SELECT	SECONDARY PRESET 1、2、3 のプリセット番号を選択
10	ERROR DETECT	1～9 のプリセットにエラーを検出する条件を設定
11	FILE UPLOAD	静止画ファイルのアップロード※1

※1 FILE 機能はオプションです。オプション非対応の場合は表示されません。

② 入力名称設定

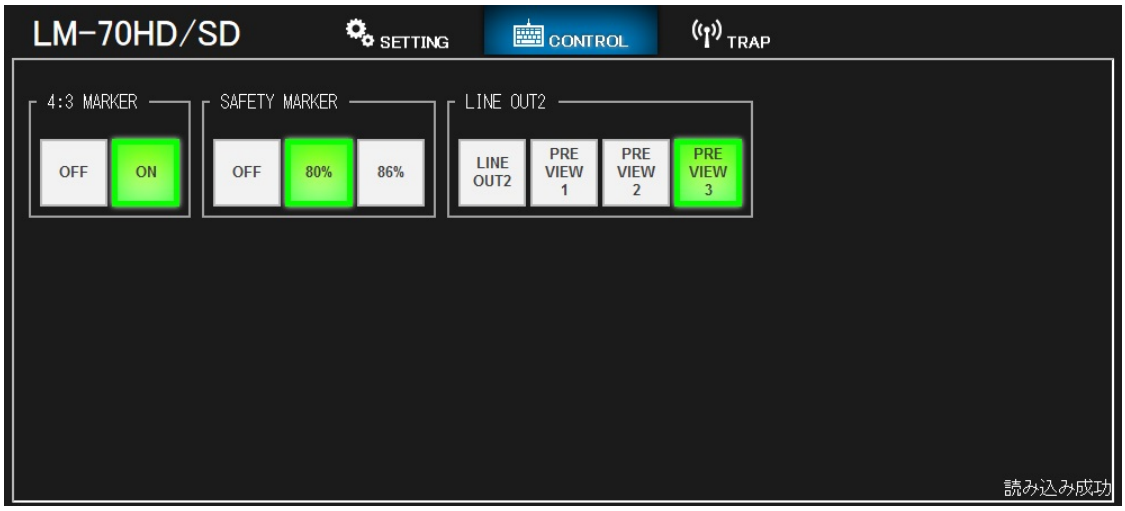
	項目	内容
1	PRIMARY 名称	PRIMARY の名称を入力(8 文字以内)
2	SECONDARY 名称	SECONDARY の名称を入力(8 文字以内)
3	AUX 名称	AUX の名称を入力(8 文字以内)
4	設定	入力された名称を設定しダイアログを閉じる
5	キャンセル	入力した名称をキャンセルしダイアログを閉じる

③ ERROR DETECT



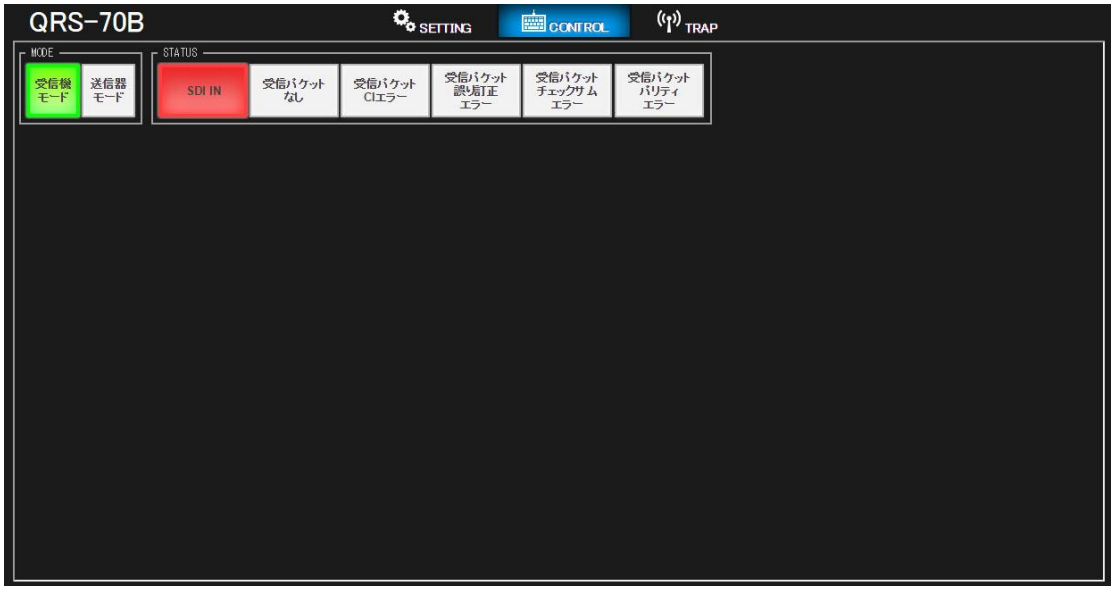
	項目	内容
1	ERROR DETECT	1～9 のプリセットにエラーを検出する条件を設定
2	PRESET SELECT	設定するプリセットを選択
3	DETECT STATE CONTROL	SET ボタンで現在の設定状態をモジュールに反映
4	ALL SET	全ての項目に対し–(無効)、OR、AND を設定しモジュールに反映

(31) LM-70HD/SD



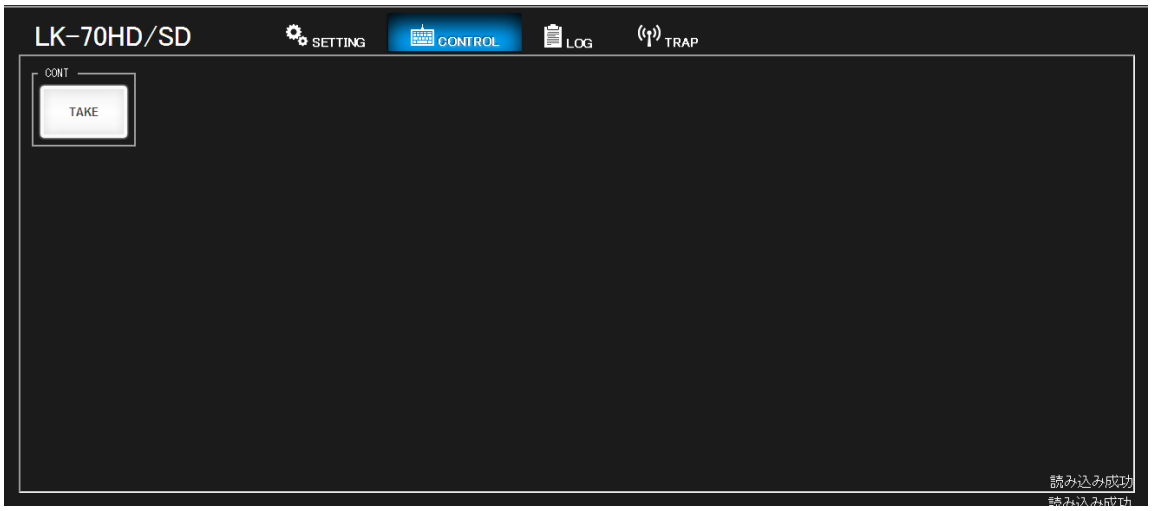
	項目	内容
1	4:3 MARKER	4:3 マーカーの ON/OFF の設定を表示。(変更できません)
2	SAFTY MARKER	セーフティーマーカーの設定を表示。(変更できません)
3	LINE OUT2	LINE OUT2 の設定を表示。(変更できません)

(32) QRS-70B



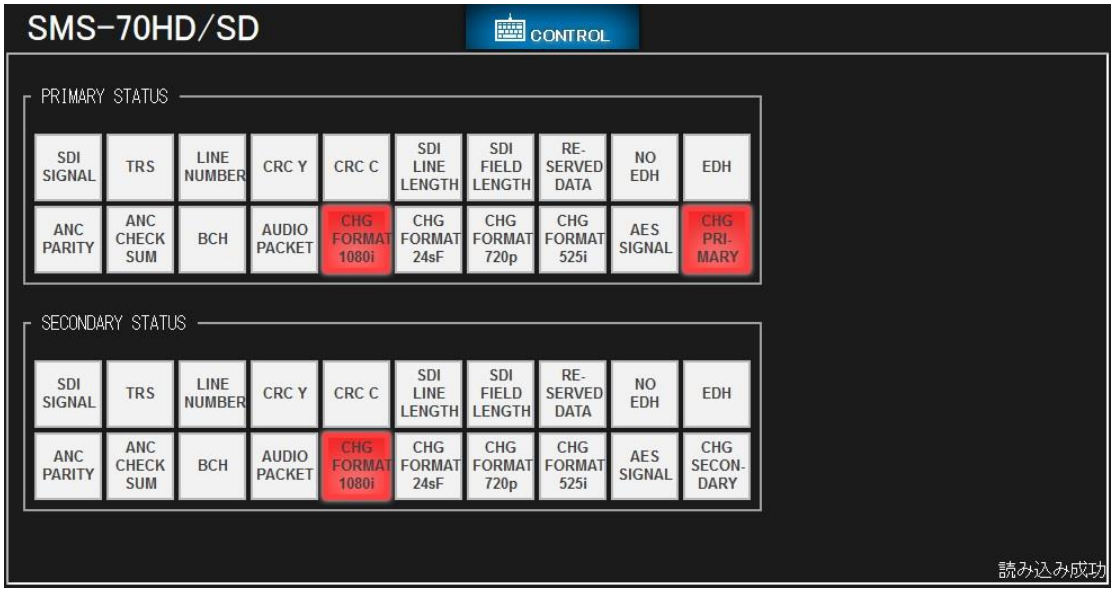
	項目	内容
1	MODE	動作モードの設定を表示
2	STATUS	現在のステータスの状態を表示

(33) LK-70HD/SD-CK2



	項目	内容
1	CONT	TAKE を実行

(34) SMS-70HD/SD



	項目	内容
1	PRIMARY STATUS	PRIMARY の入力信号の状態を表示。
2	SECONDARY STATUS	SECONDARY の入力信号の状態を表示。

本書に記載している商標

Microsoft®、Windows®、および Windows 7®は、Microsoft Corporation の米国および他の国における登録商標です。

その他本書中に記載されている会社名・製品名は、各社の商標または登録商標です。

無断転写禁止

・本書の著作権はビデオトロン株式会社に帰属します。
・本書に含まれる文書および図版の流用を禁止します。

緊急時の連絡先について

ご使用中の製品が故障する等緊急の際には、下記連絡先へご連絡をお願いいたします。

営業日の連絡先

TEL.042-666-6329　FAX.042-666-6330
E-Mail. cs@videotron.co.jp
ビデオトロン株式会社 製造技術部
〒193-0835 東京都八王子市千人町 2-17-16　受付時間/8:30～17:00

土曜・日曜・祝祭日の連絡先

【留守番電話】 TEL.042-666-6311
【緊　急　時】 TEL.090-3230-3507
携帯電話の為、通話に障害を起こす場合がありますのであらかじめご了承願います。
受付時間/9:00～17:00

ビデオトロンWEBサイト **http://www.videotron.co.jp/**　101584R15

この文書の情報は単なる情報として提供されるものであり、予告なく変更される可能性があります。